

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	1	説明資料	61	項目番号	2
事務事業名	学校運営費(中学校)(総務関係)								所管部課名	教育総務部		
										総務課		

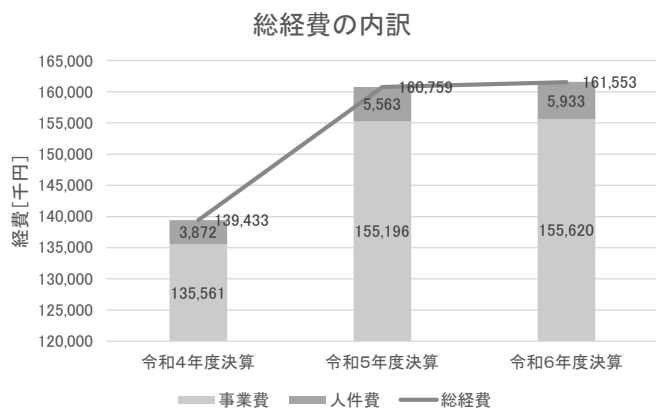
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第5条						
事業目的	横須賀市立中学校の学校運営上必要な経常経費の予算計上及び執行により、教育諸条件の機会均等と教育内容の向上を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・総務課 各学校への予算配当、支出処理、全学校共通物品等の調達(生徒用机椅子等) ・各学校 校長裁量による学校配当予算の執行(支出処理は総務課)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	135,561	155,196	155,620	172,920	千円
b 人件費	3,872	5,563	5,933	5,890	千円
正規職員	0.4	0.6	0.6	0.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	500	525	790	800	千円
総経費（a + b）	139,433	160,759	161,553	178,810	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・学校備品購入費 21,853千円 ・暖房等燃料費 4,594千円 ・管理用消耗品費 18,369千円 ・その他学校管理運営費 90,745千円	・学校備品購入費 28,649千円 ・暖房等燃料費 3,382千円 ・管理用消耗品費 28,966千円 ・その他学校管理運営費 94,199千円	・学校備品購入費 26,290千円 ・暖房等燃料費 3,734千円 ・管理用消耗品費 31,260千円 ・その他学校管理運営費 94,336千円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度から保健室用及び衛生用消耗品を学校配当予算で執行している。 各年度学校配当予算を有効に活用し各学校が運営に必要な物品等の調達を行うことができている。 なお、予算内で必要な物品等の調達をしたうえで、不用額については執行残として残すようにしているため、年度ごとの決算額は増減している。
今後の事業 の方向性	学校運営に必要な事業（経費）のため事業廃止の予定はないが、執行にあたっては学校間での不用物品の相互利用を行うなど更なる効率的な執行を図っていく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計		款	11	項	3	目	1	説明資料	62	項目番号	2(3)⑪
事務事業名	その他学校管理運営費(中学校)									所管部課名	学校教育部		
											保健体育課		

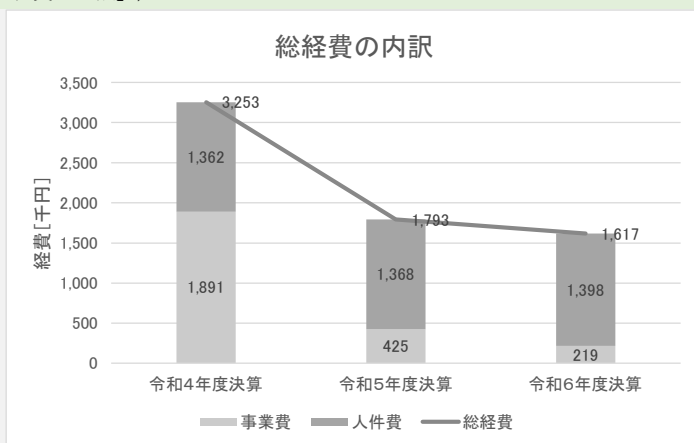
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	部分負担	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務								
根拠法令	計量法								
事業目的	中学校の学校環境衛生の管理のため、害虫駆除等を実施する。						分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	・中学校23校に対して害虫駆除・計量器の検査を実施している。								

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,891	425	219	379	千円
b 人件費	1,362	1,368	1,398	1,354	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,253	1,793	1,617	1,733	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・トイレトペーパー 409箱 ・ポリ袋の配布 6,900枚 ・生理用品 23校分(学校トイレ設置用) ・計量器検査 18台 ・アシナガバチの巣の撤去 1件	・計量器検査 39台 ・アシナガバチの巣の撤去 1件 ・白蟻羽蟻対策及び防除 1件	・計量器検査 19台 ・各種ハチの巣の撤去、調査 7件 ・シロアリ防除 1件

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度から、学校環境衛生用品購入に必要な予算を総務課予算で執行したため、事業費は減となっている。
今後の事業の方向性	中学校の学校環境衛生の維持・管理のため事業の継続が必要。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	1	説明資料	62	項目番号	3
事務事業名	学校営繕工事費(中学校)(体育館照明LED化事業を除く)								所管部課名	教育総務部 学校管理課		

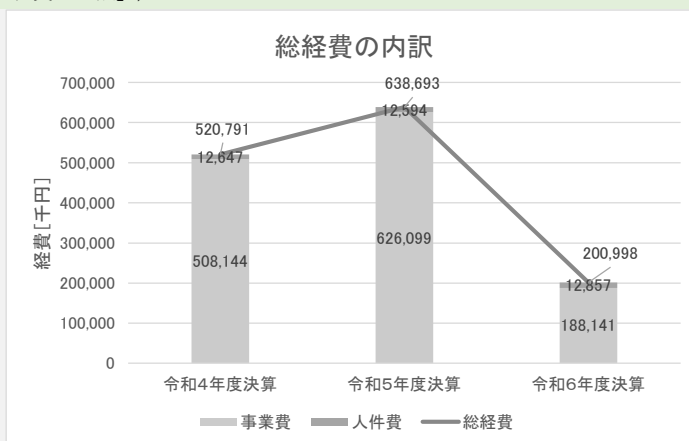
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	施設の維持管理に係る業務							
根拠法令								
事業目的	施設(建物・校庭等)の経年劣化による損耗、機能低下に対する復旧及び教育環境の質的向上を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	校舎、体育館、校庭等の学校施設を、工事や修繕により維持補修する。							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	508,144	626,099	188,141	396,405	千円
b 人件費	12,647	12,594	12,857	12,725	千円
正規職員	1.5	1.5	1.5	1.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	520,791	638,693	200,998	409,130	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・修繕の実施 防球ネットや空調設備の修理、プールろ過機の修理、外壁の補修、照明器具の改修など、中学校23校で84件の修繕を実施した。 ・改修工事の実施 校舎改修工事、屋上防水改修工事、外壁改修工事など、中学校10校で11件の工事を実施した。 【参考】 ・体育館照明LED化改修工事：2件		・修繕の実施 消防設備の改修、プールろ過機の修理、外壁の補修など、中学校23校で104件の修繕を実施した。 ・改修工事の実施 トイレ改修工事、屋上防水改修工事、外壁改修工事など、中学校8校で10件の工事を実施した。 【参考】 ・体育館照明LED化改修工事：1件	・修繕の実施 消防設備の改修、プールろ過機の修理、外壁の補修など、中学校23校で101件の修繕を実施した。 ・改修工事の実施 トイレ改修工事、プール塗装工事、武道場屋根改修工事など、中学校5校で5件の工事を実施した。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	実施する工事は、学校からの修理要望や現場調査を基に、安全・安心および教育環境の維持・向上の観点から必要なものや、緊急を要するものは優先的に実施するなど、必要に応じて内容や実施時期を調整している。 また、工事はカリキュラムや行事への影響など、学校への負担も大きいことから、学校と事前に調整をし、工期の調整や施工の可否を判断している。 以上の点から、実施する工事や修繕が年度によって変わるため、金額が変動する。		
今後の事業 の方向性	学校施設の安全を確保するため、事業を継続し必要な修繕を実施していく。 老朽化が進んでいくことで予算規模は拡大していくことが見込まれているが、生徒数の推移や利用状況に応じた対応を検討する。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	1	説明資料	63	項目番号	4
事務事業名	学校警備費(中学校)								所管部課名	教育総務部		
										学校管理課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	市立中学校の施設設備等の保全、防犯等安全を期する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	警備会社に機械警備を委託し、夜間休日の警備を行う。 校内巡視員による部活動時間帯の校内の見回り、終了後の戸締り確認を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	13,747	13,717	13,268	15,236	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	15,433	15,396	14,982	16,933	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・警備委託校 23校 ・校内巡視員 14校 20人	・警備委託校 23校 ・校内巡視員 13校 19人	・警備委託校 23校 ・校内巡視員 12校 18人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	機械警備委託は、業務の性質上契約内容に変更がないことから、委託料はほぼ同額で推移している。校内巡視学校数の減少に伴い、巡視員の延べ活動時間数が減少している。
今後の事業の方向性	市立中学校の施設設備等の保全、防犯等安全を期するためには、不可欠な事業であるので継続する。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	3	目	1	説明資料	63	項目番号	5
事務事業名	学校プール運営費(中学校)									所管部課名	学校教育部		
											保健体育課		

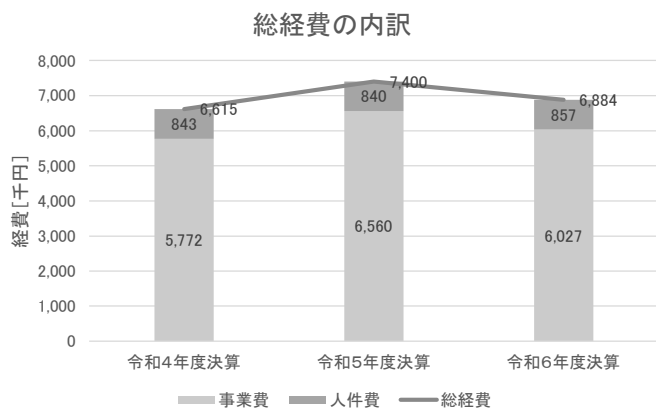
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	学校保健安全法						
事業目的	市立中学校の水泳プール(18校)の運営を行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・塩素剤などプールに必要な薬品の一括購入を行う。 ・夏季休業期間の管理をプール管理員に委託。 (教育委員会から管理員に直接委託) ・使用開始前のプール清掃委託及びろ過機の保守管理委託を行う。 ・水質検査の実施(年2回)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,772	6,560	6,027	6,506	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	6,615	7,400	6,884	7,354	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
	・塩素剤などプールに必要な薬品の一括購入 ・夏季休業期間の管理を各学校のプール運営委員会に委託 ・プール清掃委託及びびろ過機の保守管理委託実施 ・水質検査の実施(2回)	・塩素剤などプールに必要な薬品の一括購入 ・夏季休業期間の管理を各学校のプール運営委員会に委託 ・プール清掃委託及びびろ過機の保守管理委託実施 ・水質検査の実施(2回)	・塩素剤などプールに必要な薬品の一括購入 ・夏季休業期間の管理をプール管理員に委託。 (教育委員会から管理員に直接委託) ・プール清掃委託及びびろ過機の保守管理委託実施 ・水質検査の実施(2回)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和4年度は、水泳授業が再開となり、総経費が前年度を上回っている。 令和5年度は、猛暑により薬剤の使用量が増加したため、総経費が前年度を上回っている。 令和6年度は、消耗品費の減少により、総経費が前年度を下回った。		
今後の事業 の方向性	市立中学校水泳プールの維持管理を統一して行うため、当面は維持継続していく。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	1	説明資料	64	項目番号	6
事務事業名	学校施設維持管理費(中学校)								所管部課名	教育総務部		
										学校管理課		

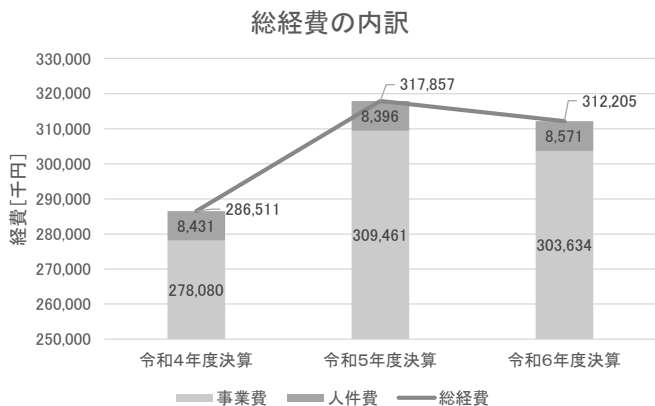
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	市立中学校の財産及び施設設備の管理保全					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・光熱水費等の支出。 ・清掃委託、保守管理委託及び点検業務委託を行うことによって、施設設備の故障、事故の未然防止及び良好な使用につなげる。 ・学校用地管理のための境界確定協議、測量及び土地借上げを実施。 ・行政財産目的外使用許可により使用した電気、水道料金実費相当額を徴収し、財源に充当。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	278,080	309,461	303,634	338,965	千円
b 人件費	8,431	8,396	8,571	8,483	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	286,511	317,857	312,205	347,448	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・トイレ、窓ガラス清掃 ・自家用電気工作物点検 ・体育器具等点検 ・給水設備受水槽点検 ・消防設備点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・エレベータ保守点検 3校 ・空調設備保守点検 1校 ・ガスヒーポン保守点検 1校 ・漏水調査 2校 ・点検対応等修繕ほか	・トイレ、窓ガラス清掃 ・自家用電気工作物点検 ・体育器具等点検 ・給水設備受水槽点検 ・消防設備点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・エレベータ保守点検 3校 ・空調設備保守点検 1校 ・ガスヒーポン保守点検 1校 ・漏水調査 1校 ・点検対応等修繕ほか	・トイレ、窓ガラス清掃 ・自家用電気工作物点検 ・体育器具等点検 ・給水設備受水槽点検 ・消防設備点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・エレベータ保守点検 3校 ・空調設備保守点検 1校 ・ガスヒーポン保守点検 1校 ・漏水調査 2校 ・点検対応等修繕ほか

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	共通の仕様で発注できる清掃、保守点検など、また地区別に発注できる樹木等管理は小学校、特別支援学校（ろう学校、養護学校）とまとめることにより、事務処理及び経費の軽減に努めている。 令和5年度は、水道料金及び下水道使用料の改定並びに危険樹木の伐採を強化したため支出が増加した。 令和6年度は、人件費等の上昇により保守管理委託料が増加したが、危険樹木の伐採が縮小したため、全体支出は減少した。
--	--

今後の事業 の方向性	市立中学校の施設設備等の維持、安全確保のためには、不可欠な事業であるので継続する。
---------------	---

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	1	説明資料	65	項目番号	7
事務事業名	校長会等負担金(中学校)								所管部課名	教育総務部		
										総務課		

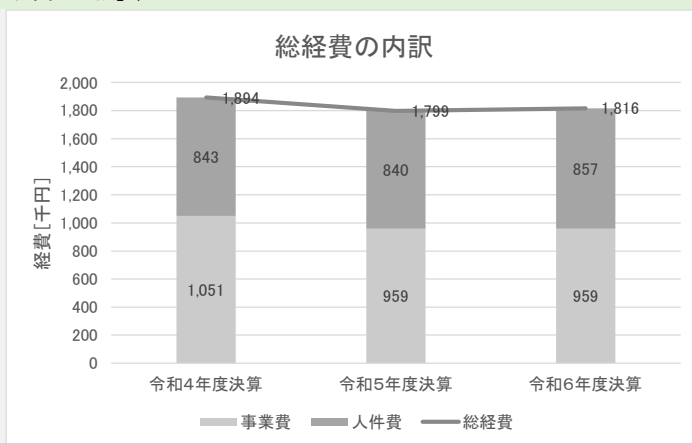
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	横須賀市立中学校長等を対象に、公立中学校長会等各種団体に参加して、学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行い、学校教育の推進及び学校経営の充実発展に資するための経費					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	公立中学校長会等各種団体への参加負担金の支出							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,051	959	959	961	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	1,894	1,799	1,816	1,809	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・神奈川県立公立中学校長会負担金 575千円 ・神奈川県立公立中学校教頭会負担金 444千円 (うち、地域開催としての参加負担金 92千円) ・その他負担金 32千円	・神奈川県立公立中学校長会負担金 575千円 ・神奈川県立公立中学校教頭会負担金 352千円 ・その他負担金 32千円	・神奈川県立公立中学校長会負担金 575千円 ・神奈川県立公立中学校教頭会負担金 352千円 ・その他負担金 32千円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	各種負担金額は年度ごとで異なるが、学校数に変動がないことから支出額は例年同規模で推移している。
今後の事業 の方向性	校長等が公立中学校長会等各種団体に参加して、学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行い、その成果を各学校の教育推進及び学校経営に活用させていくことは市立中学校運営に不可欠であるため、今後も事業を継続していく予定である。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	67	項目番号	2(1)
事務事業名	学校運営費(中学校)(学校教育関係)									所管部課名	学校教育部		
											教育指導課		

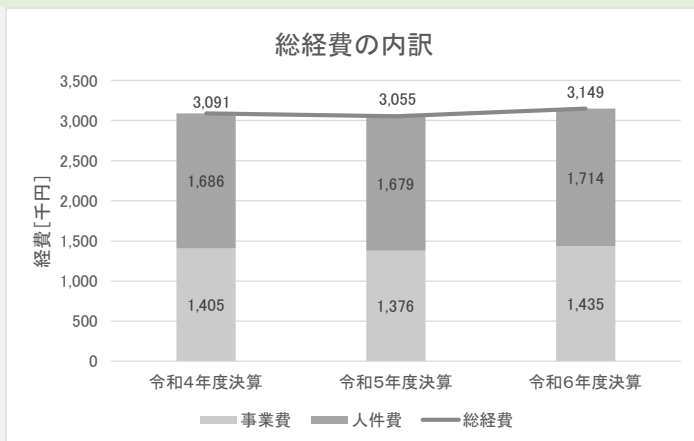
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市立中学生1年生を対象とする。 中学校社会科教育をより充実するための事業。 自分達が住む町を様々な観点から学習することにより、横須賀への郷土愛を持ってもらう。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	社会科副読本「郷土横須賀」、社会科地形図「横須賀市全図」を印刷し、市立の中学生1年生に配布する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,405	1,376	1,435	1,479	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,091	3,055	3,149	3,176	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・社会科の副読本及び学習地図を作成し、中学校1年生生徒を対象に配布した。	・社会科の副読本及び学習地図を作成し、中学校1年生生徒を対象に配布した。	・社会科の副読本及び学習地図を作成し、中学校1年生生徒を対象に配布した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	中学校1年生の生徒数は減少しているが、昨今の物価高騰で、印刷価格が上昇しており、総経費の減少には至っていない。
今後の事業 の方向性	中学校学習指導要領において、中学校の社会科では、学校の周辺地域を防災、産業の変容、交通の発展などの観点で地域調査をする学習内容があり、その際に活用する教材のため、今後も継続していく。

令和7年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	3	目	2	説明資料	68	項目番号	2(1)⑥																
事務事業名	保健体育科副読本										所管部課名	学校教育部 保健体育課																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																							
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令	学校教育法																													
事業目的	保健体育科の準教科書を公費負担し、保健体育の実技指導の充実を図るとともに、生徒の学習効果を高め、保健体育の学習促進を図る。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容	市立中学校の保健体育に係る教科指導の充実を図る。																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位																					
a 事業費（予算現額・支出済額）					2,483	2,569	2,520	2,520	千円																					
b 人件費					843	840	857	848	千円																					
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	0	0	千円																					
総経費（a + b）					3,326	3,409	3,377	3,368	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>2,483</td><td>843</td><td>3,326</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>2,569</td><td>840</td><td>3,409</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>2,520</td><td>857</td><td>3,377</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	2,483	843	3,326	令和5年度決算	2,569	840	3,409	令和6年度決算	2,520	857	3,377
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和4年度決算	2,483	843	3,326																											
令和5年度決算	2,569	840	3,409																											
令和6年度決算	2,520	857	3,377																											
令和4年度の活動実績					令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績																				
・副読本の一括購入					・副読本の一括購入					・副読本の一括購入																				
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	生徒数の減少に伴い、副読本の購入冊数が減少した。																													
今後の事業の方向性	中学校の保健体育授業において必要な教材であるため、事業を継続する。																													

令和7年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	3	目	2	説明資料	68	項目番号	2(1)																
事務事業名		中学校教育振興費(欠席等連絡ツール使用料)									所管部課名	学校教育部 教育研究所(教育情報担当)																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																							
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令	学校教育の情報化の推進に関する法律																													
事業目的	保護者の電話連絡の負担軽減及び学校現場の効率化等のため、保護者から学校への欠席等の連絡が行える電子ツールを導入する。(中学校分)									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																			
具体的な事業内容	欠席等連絡ツールの使用料(中学校分)																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位																					
a 事業費(予算現額・支出済額)							844	880	千円																					
b 人件費					0	0	857	848	千円																					
正規職員							0.1	0.1	人																					
再任用職員(短時間を含む)							0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)							0	0	千円																					
総経費(a + b)					0	0	1,701	1,728	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table border="1"><caption>総経費の内訳 (単位: 千円)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>844</td><td>857</td><td>1,701</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	0	0	0	令和5年度決算	0	0	0	令和6年度決算	844	857	1,701
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和4年度決算	0	0	0																											
令和5年度決算	0	0	0																											
令和6年度決算	844	857	1,701																											
令和4年度の活動実績					令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績																				
-					-					始業時の時間帯に集中していた電話対応が減少し、教職員が始業時の打合せや授業準備等、本来の業務に専念できる環境となった。学校運営の効率化や業務負担の軽減に寄与した。																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)		令和6年度から新設																												
今後の事業の方向性		欠席等連絡ツールについては、学校運営の効率化や業務負担の軽減に資するものとして、今後も継続して活用を進める。加えて、教育委員会等からの保護者への一斉送信について、より効果的な運用方法を必要に応じて検討する。今後も、ICTを活用した連絡体制の充実と学校現場の働き方改革を推進していく。																												

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	67	項目番号	2(1)(2)
事務事業名	学校運営費(中学校)(教育教材購入費等)								所管部課名	教育総務部 総務課		

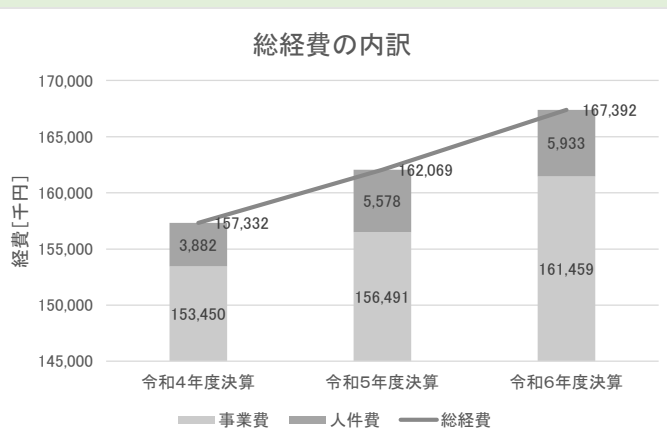
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第5条						
事業目的	横須賀市立中学校の学校運営上必要な経常経費の予算計上及び執行により、教育諸条件の機会均等と教育内容の向上を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・総務課 各学校への予算配当、支出処理、高額物品等の更新(教室用テレビ等) ・各学校 校長裁量による学校配当予算の執行(支出処理は総務課)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	153,450	156,491	161,459	164,420	千円
b 人件費	3,882	5,578	5,933	5,890	千円
正規職員	0.4	0.6	0.6	0.6	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	510	540	790	800	千円
総経費（a + b）	157,332	162,069	167,392	170,310	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・校長の裁量による教材費執行 143,043千円 ・更新教材等総務課執行 10,407千円 (教室用テレビ等)	・校長の裁量による教材費・医薬材料費執行 149,525千円 ・更新教材等総務課執行 6,966千円 (理科教育振興法整備用教材等)	・校長の裁量による教材費・医薬材料費執行 154,496千円 ・更新教材等総務課執行 6,963千円 (理科教育振興法整備用教材等)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度から医薬材料費を学校配当予算で執行している。 各年度学校配当予算を有効に活用し各学校が運営に必要な物品等の調達を行うことができる。 なお、予算内で必要な物品等の調達をしたうえで、不用額については執行残として残すようにしているため、年度ごとの決算額は増減している。
今後の事業 の方向性	学校運営に必要な事業（経費）のため事業廃止の予定はないが、執行にあたっては学校間での不用物品の相互利用を行うなど更なる効率的な執行を図っていく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	68	項目番号	2(2)①～③、⑤
事務事業名	保健関係経費(中学校)								所管部課名	学校教育部		
										保健体育課		

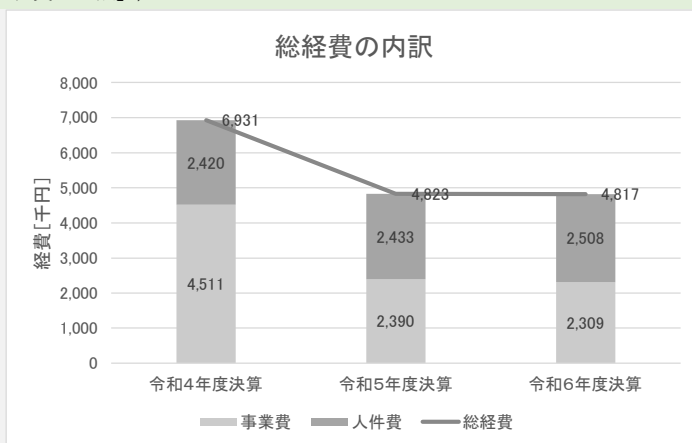
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校保健安全法						
事業目的	学校における生徒の健康を保持増進し、また、学校管理下における児童の災害に備え、学校運営の円滑な実施を確保する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	学校管理下における生徒の災害に備え、中学校の保健室に必要な備品等の購入、配布を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,511	2,390	2,309	2,995	千円
b 人件費	2,420	2,433	2,508	2,515	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	215	226	253	313	千円
総経費（a + b）	6,931	4,823	4,817	5,510	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・保健室の消耗品、医薬材料について各校へ予算を配当し支出処理を行った。 ・保健室の備品について各校の要望を調整し、予算の範囲内で購入し配置した。 ・健康手帳を作成し各校へ送付した。	・保健室の備品について各校の要望を調整し、予算の範囲内で購入し配置した。 ・健康手帳を作成し各校へ送付した。	・保健室の備品について各校の要望を調整し、予算の範囲内で購入し配置した。 ・健康手帳を作成し各校へ送付した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度から、中学校の保健室に必要な消耗品、医薬材料の購入予算を総務課予算で執行したため、事業費は減となっている。
今後の事業の方向性	保健室の機能を維持するため事業の継続が必要である。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	3	目	2	説明資料	68	項目番号	2(3)
事務事業名	生徒健康管理費										所管部課名	学校教育部		
												保健体育課		

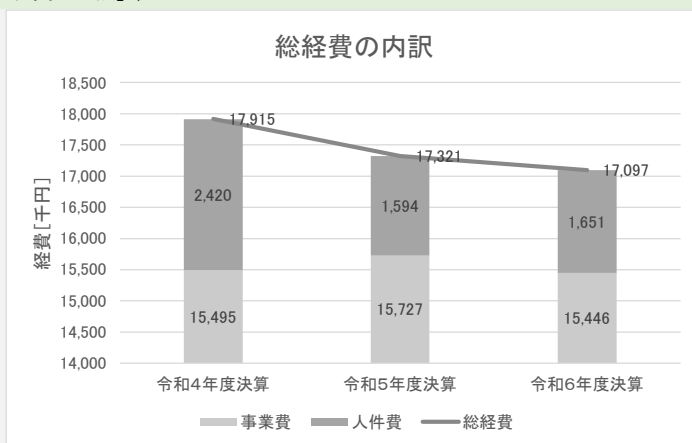
(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校保健安全法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法						
事業目的	学校における生徒の健康を保持増進し、また、学校管理下における生徒の災害に備え独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入して、学校運営の円滑な実施を確保する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・学校保健安全法の規定に基づき、生徒の各種健康診断を実施する。 定期健康診断の実施(心臓、尿検査は業務委託) ・学校管理下における生徒の災害に備え、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入する。 ※掛金内訳 設置者負担(6/10)、個人負担(4/10)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	15,495	15,727	15,446	17,132	千円
b 人件費	2,420	1,594	1,651	1,667	千円
正規職員	0.2	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	215	226	253	313	千円
総経費（a + b）	17,915	17,321	17,097	18,799	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・災害共済加入者 8,722人 ・受検者(心臓検診) 2,750人 ・受検者(尿検査) 8,448人	・災害共済加入者 8,565人 ・受検者(心臓検診) 2,853人 ・受検者(尿検査) 8,291人	・災害共済加入者 8,443人 ・受検者(心臓検診) 2,762人 ・受検者(尿検査) 8,134人

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	中学校の生徒数の減少により対象人数が減少傾向にあり、それに伴って事業費は減少している。
今後の事業の方向性	健康診断の実施は法令で決まっており、また学校における生徒の健康を保持増進し、学校管理下における生徒の災害に備えるため、事業を継続していく必要がある。 事業は、生徒数の減少により横ばいか緩やかに減少するものと思われる。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	3	目	2	説明資料	68	項目番号	2(4)
事務事業名	学校運営費(中学校)(給食関係)										所管部課名	学校教育部		
											学校食育課			

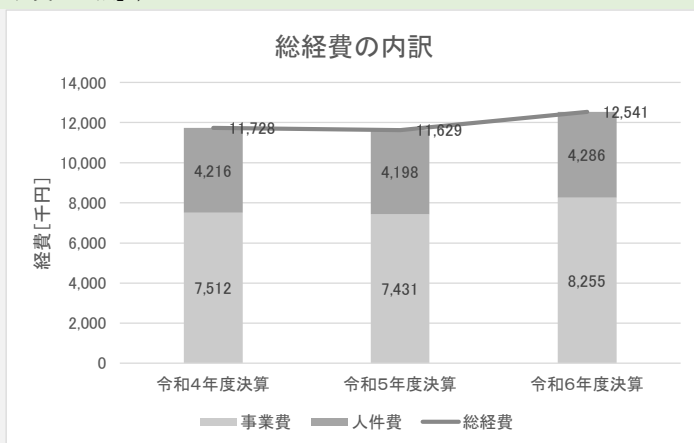
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校給食法、同法施行令、学校給食実施基準、横須賀市給食条例、同条例施行規則						
事業目的	中学校の荷受室・配膳室について、適切な維持管理を行い、安全安心な学校給食を提供する。 中学校の給食設備(牛乳保冷库及び小荷物専用昇降機等)の維持管理及び機械器具の購入等により、安全安心な学校給食を提供する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・牛乳保管用冷蔵庫の更新(令和4年度から再開) ・牛乳保冷库等の修繕(老朽化に伴う不具合) ・小荷物専用昇降機保守点検(中学校) ・荷受室・配膳室の衛生環境維持に係る消耗品の購入 ・生徒用手洗い石鹸等の購入						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	7,512	7,431	8,255	8,626	千円
b 人件費	4,216	4,198	4,286	4,242	千円
正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	11,728	11,629	12,541	12,868	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績		令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・中学校小荷物専用昇降機保守点検 ・牛乳保管用冷蔵庫の更新 ・牛乳保冷库等の修繕		・中学校小荷物専用昇降機保守点検 ・牛乳保管用冷蔵庫の更新 ・牛乳保冷库等の修繕	・中学校小荷物専用昇降機保守点検 ・牛乳保管用冷蔵庫の更新 ・牛乳保冷库等の修繕
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	物価高騰による委託料等の高騰が影響しており、事業費は上昇傾向である。		
今後の事業 の方向性	安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、事業を継続する。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	69	項目番号	2(5)
事務事業名	学校給食材料費(中学校)								所管部課名	学校教育部		
										学校食育課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校給食法、同法施行令、学校給食実施基準、横須賀市給食条例、同条例施行規則						
事業目的	安全・安心な学校給食を提供するため、中学校給食用の食材を調達する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	中学校給食に必要な食材を調達する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	543,337	563,835	565,967	581,360	千円
b 人件費	3,372	3,358	3,428	3,393	千円
正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	546,709	567,193	569,395	584,753	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・完全給食の実施(牛乳を含む) (1・2年生 180回) (3年生 163回)		・完全給食の実施(牛乳を含む) (1・2年生 180回) (3年生 163回)	・完全給食の実施(牛乳を含む) (1・2年生 180回) (3年生 163回)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和3年度の年度途中(9月29日)から完全給食を実施した。 令和4年度以降は通年の実施となり、令和3年度と比較して倍近くの事業費となっている。 なお、令和4年度、5年度は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、物価高騰分を補填した。 令和6年度は、生徒数は減少しているが、物価高騰による食材料の価格上昇が大きかったため、総支出額は増となった。 物価高騰分については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して補填した。		
今後の事業 の方向性	安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、事業を継続する。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	69	項目番号	2(6)
事務事業名	学校行事参加生徒移動経費								所管部課名	学校教育部		
										保健体育課		

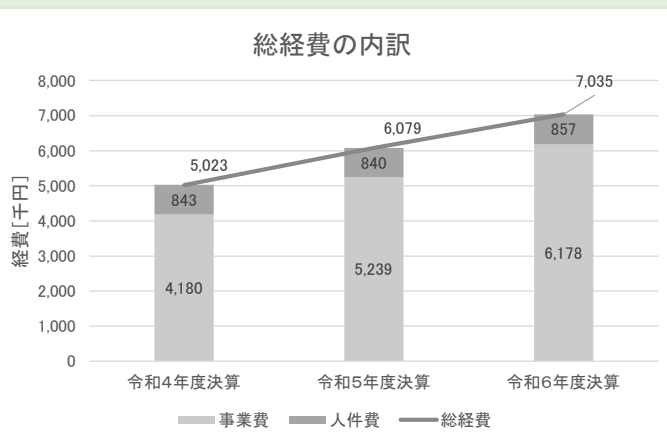
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市立中学校生徒を対象に各種大会を実施し、健康で明朗な中学生を育成するため、学校体育の奨励と振興を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・市中学校総合体育大会への参加生徒に対する交通費支給及びバス借上げ ・市中学校駅伝競走大会への参加生徒に対する交通費の支給						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,180	5,239	6,178	6,405	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	5,023	6,079	7,035	7,253	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・市中学校総合体育大会への参加生徒に対する交通費支給、バス借上げ ・市中学校駅伝競走大会への参加生徒に対する交通費の支給	・市中学校総合体育大会への参加生徒に対する交通費支給、バス借上げ ・市中学校駅伝競走大会への参加生徒に対する交通費の支給	・市中学校総合体育大会への参加生徒に対する交通費支給、バス借上げ ・市中学校駅伝競走大会への参加生徒に対する交通費の支給
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和3年度・4年度・5年度と各種大会の参加生徒の人数制限が段階的に緩和されていったため、事業費が年度ごとに増加している。市中学校総合体育大会の開催会場や参加人数によって、参加生徒交通費が増減する。貸切バスの運賃の高騰、公共交通機関の運賃改定などにより、経費が増加している。	
今後の事業 の方向性	参加生徒交通費の支給やバス借上げによって、各大会に円滑に参加できており、市教育委員会主催の各大会に全市立中学校が参加するために、市が参加生徒交通費、バス借上げ料を負担する必要がある。各種大会への参加は、生徒の体力向上の推進に役立っていることから、当面は維持継続していく。	

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	3	目	2	説明資料	69	項目番号	2(7)(8)
事務事業名	武道実技指導者謝礼等										所管部課名	学校教育部		
												保健体育課		

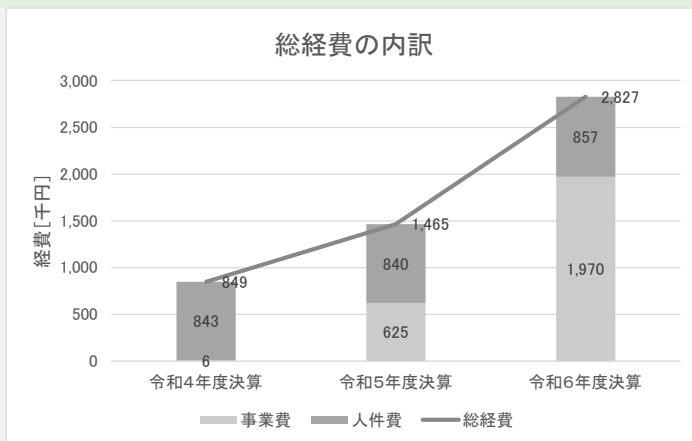
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	武道必修化に伴い、希望する中学校に対し、専門的な知識と技術をもった武道実技指導者を派遣し、安全な指導の徹底を図る。 公郷中学校の水泳事業について、民間施設を活用して実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・武道実技指導者への謝礼金(21単位時間分)の支給および傷害保険の加入 ・大会運営時等の連絡に必要な課保有自転車の安全保険の加入 ・民間水泳施設を活用した公郷中学校水泳授業の実施						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	6	625	1,970	2,085	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	849	1,465	2,827	2,933	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・武道実技指導者の派遣希望がなかった。	・武道実技指導者の派遣希望がなかった。 ・公郷中学校の水泳事業を民間施設を利用して行った。(バスでの送迎を含む)	・武道実技指導者の派遣希望がなかった。 ・公郷中学校の水泳事業を民間施設を利用して行った。(バスでの送迎を含む)

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和4年度は、武道実技指導者の派遣希望が無く、課保有自転車の安全保険加入のみの支出となった。 令和5年度は、武道実技指導者の派遣希望がなかったが、公郷中学校の水泳授業を民間施設で行ったため、その分の経費が純増した。 令和6年度は、公郷中学校の水泳授業民間委託において委託業者との契約内容の見直しがあり、総経費が前年度を上回った。
今後の事業 の方向性	武道実技指導者の派遣については、教員の資質向上と武道指導の充実に貢献となるため、当面は維持継続していく。 民間水泳授業の活用による公郷中学校の水泳授業実施については、公郷中学校の水泳授業の機会確保のため、また、今後の公園プールの廃止の推進により、現在公園プールで水泳授業を行っている学校における水泳授業の新たな受け皿確保が必要となってくるため、当面は継続していく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	69	項目番号	2(9)
事務事業名	神奈川県中学校体育連盟負担金								所管部課名	学校教育部		
										保健体育課		

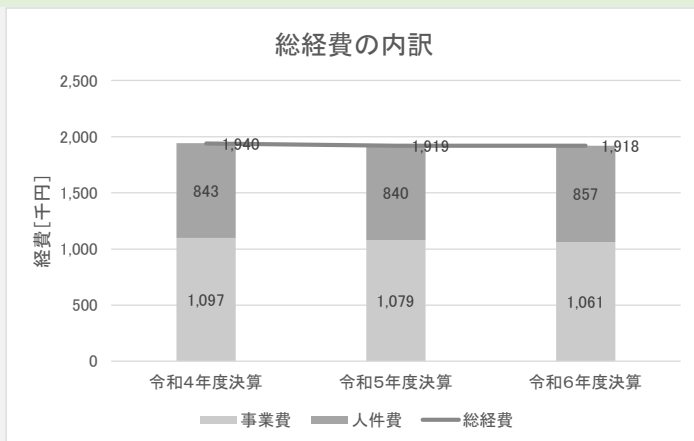
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	県下、市内中学校相互の緊密な連絡を保ち、運動競技の正常な発展を図り、保健体育全般にわたる研究をし、体育文化の向上を期する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	県中学校体育連盟加盟中学校負担金の負担							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,097	1,079	1,061	1,111	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	1,940	1,919	1,918	1,959	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・県中学校体育連盟負担金の負担	・県中学校体育連盟負担金の負担	・県中学校体育連盟負担金の負担

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	中学校学級数及び生徒数の減少に伴い、負担金の額が減少した。
今後の事業 の方向性	本市中学校生徒も出場している神奈川県中学校総合体育大会の主催・運営団体である、神奈川県中学校体育連盟に対して負担金を支払うことにより、本市運動部活動の生徒の県大会出場機会を維持する必要があるため、継続する。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	70	項目番号	4(2)
事務事業名	要準要保護生徒医療等扶助費								所管部課名	学校教育部		
										保健体育課		

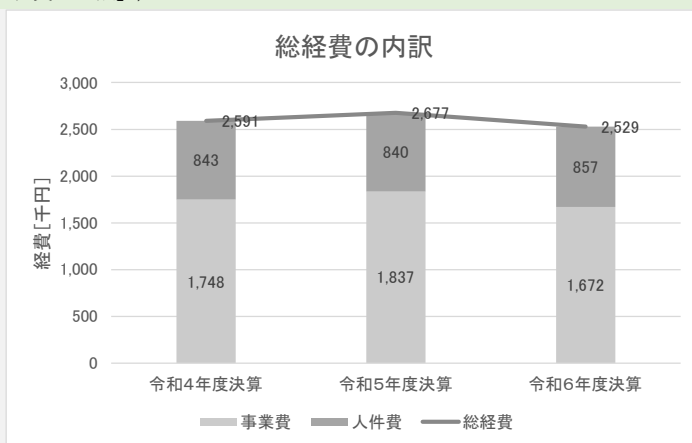
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校保健安全法						
事業目的	感染性又は学習に支障を生ずる疾病(学校保健安全法第24条)に罹患した生徒のうち、経済的理由により医療費の支出が困難な者(準要保護)に対して治療の指示をし、必要な援助を行う。 生活保護法第6条第1項に規定する被保護者(要保護)に準すると認定された者(準要保護)のうち、視力が一定以下の者を対象に眼鏡の作成を援助する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・学校病の治療をする際に、学校へ申し出、医療機関に依頼書を持参する。治療後、医療機関が保健体育課に治療費を請求する。 ・定期健康診断の結果から学校は眼鏡支給対象者を報告する。保健体育課は予算の範囲内で、眼鏡支給者を決定する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,748	1,837	1,672	2,638	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	2,591	2,677	2,529	3,486	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・準要生徒 検眼料及び眼鏡購入費 眼鏡のみ 161人 検眼及び眼鏡 18人 検眼のみ 2人 ・要保護生徒医療扶助費 利用者なし ・被災生徒医療扶助費 利用者なし ・準要生徒医療扶助費 利用者なし	・準要生徒 検眼料及び眼鏡購入費 眼鏡のみ 170人 検眼及び眼鏡 17人 検眼のみ 0人 ・要保護生徒医療扶助費 利用者なし ・被災生徒医療扶助費 利用者なし ・準要生徒医療扶助費 利用者なし	・準要生徒 検眼料及び眼鏡購入費 眼鏡のみ 162人 検眼及び眼鏡 9人 検眼のみ 0人 ・要保護生徒医療扶助費 利用者なし ・被災生徒医療扶助費 利用者なし ・準要生徒医療扶助費 利用者なし

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	準要保護生徒検眼料及び眼鏡購入費は、令和2年度に制度の見直しを行い、認定者数の上限枠を廃止している。 また、医療扶助費は、小児医療制度の拡充により利用者がいない状況が続いている。
今後の事業の方向性	学校における児童の健康を保持増進するため、継続していく必要がある。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	71	項目番号	6(1)
事務事業名	吹奏楽活動奨励事業								所管部課名	学校教育部		
										教育指導課		

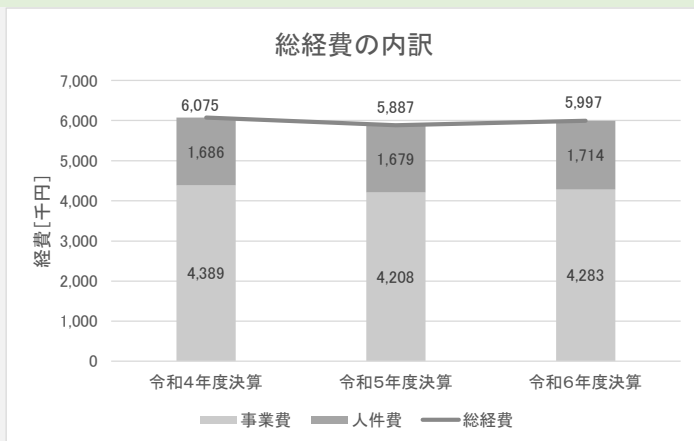
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	市立中学校を対象とする。 横須賀市立中学校の吹奏楽部活動を活性化し、活動の資質向上を図ることにより、校内に音楽的雰囲気をつくりだし、情操教育に資するとともに、その活躍により学校行事を盛り上げる等の効果を果たすものである。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	・吹奏楽楽器の修繕 ・吹奏楽楽器の更新							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,389	4,208	4,283	4,540	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	6,075	5,887	5,997	6,237	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績		令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・吹奏楽楽器の修繕 16校 ・吹奏楽楽器の更新 2校		・吹奏楽楽器の修繕 16校 ・吹奏楽楽器の更新 2校	・吹奏楽楽器の修繕 15校 ・吹奏楽楽器の更新 2校
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	吹奏楽部を有する中学校に対して、計画的に楽器の修繕及び更新を行い、例年と同程度の執行額となっている。		
今後の事業 の方向性	吹奏楽部の活動において、楽器は必須のものであるが、修繕及び更新については多額の費用がかかるため、教育委員会で引き続き修繕料及び更新費の予算措置をする。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	71	項目番号	6(2)①
事務事業名	全国、関東、県下中学校各種大会選手派遣費(体育関係)									所管部課名	学校教育部		
											保健体育課		

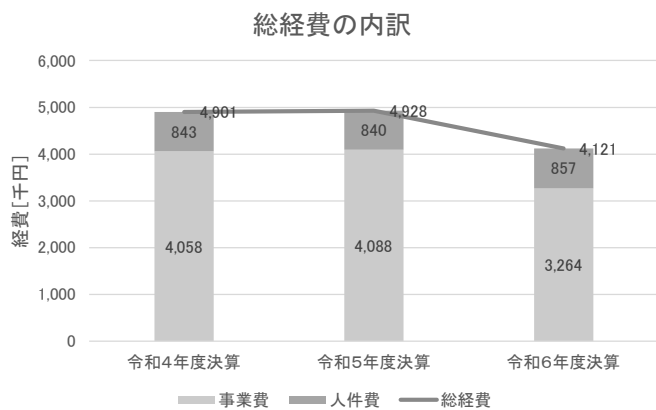
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	各種スポーツ競技大会に本市中学校生徒を選手として派遣し、本市体育・スポーツの振興を図る。体力づくりを推進するとともに、競技力の向上を図り、スポーツ活動を通じて健全な人格を育成する。全国・関東大会に派遣することにより、優秀選手としての自覚を高め、人格を形成しレベルアップを図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・全国、関東、県下各種競技大会へ選手を派遣し、激励費を支給する。 ・全国・関東大会に出場する生徒の激励会を開催し、また全国大会出場PR用の懸垂幕(横断幕)を掲示することにより、地域と学校・生徒の一体感を醸成し、あわせて出場選手(生徒)の志気を高揚させる。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	4,058	4,088	3,264	4,806	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	4,901	4,928	4,121	5,654	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・県下・関東・全国各種競技大会に出場する生徒へ交通費、宿泊費等の激励費を支給した。 ・全国大会出場PR用の横断幕(懸垂幕)の作成代金を補助した。 ・全国・関東大会に出場する生徒の激励会を開催した。		・県下・関東・全国各種競技大会に出場する生徒へ交通費、宿泊費等の激励費を支給した。 ・全国大会出場PR用の横断幕(懸垂幕)の作成代金を補助した。 ・全国・関東大会に出場する生徒の激励会を開催した。	・県下・関東・全国各種競技大会に出場する生徒へ交通費、宿泊費等の激励費を支給した。 ・全国大会出場PR用の横断幕(懸垂幕)の作成代金を補助した。 ・全国・関東大会に出場する生徒の激励会を開催した。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	激励費の支給額については、全国・関東・県大会の開催地や、出場生徒数によって増減する。 令和6年度は多額の不用額が見込まれたため、整理補正(△3,500千円)を行った。		
今後の事業の方向性	全国、関東、県大会の出場資格を得た中学校生徒の参加機会を保障するとともに、学校部活動を通して学校や地域の活力を向上するため、事業を継続する。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	71	項目番号	6(2)②
事務事業名	全国、関東、県中学校各種大会選手派遣費(文化関係)								所管部課名	学校教育部 教育指導課		

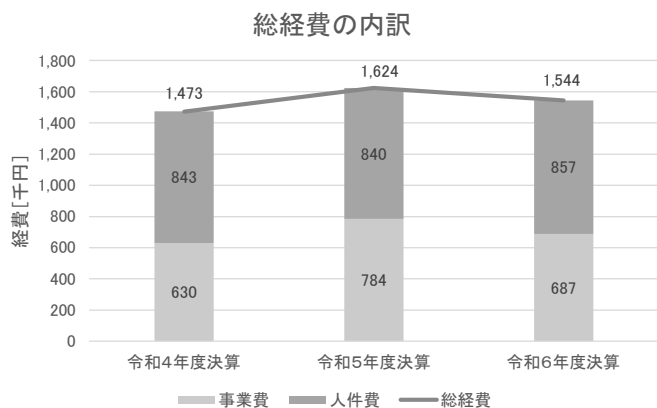
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市立中学校を対象とする。 大会に優秀部員を派遣し、本市中学校生徒の力を発揮させるとともに、相互交流、資質の向上を目指す。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	県大会等の中学校生徒大会派遣として、交通費、大会参加費及び機材等の運搬費を支給する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	630	784	687	2,698	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	1,473	1,624	1,544	3,546	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
各種大会への派遣費(交通費、大会参加費及び機材等の運搬費)を支給した。 (出場実績) ・神奈川県吹奏楽コンクール ・東関東吹奏楽コンクール ・神奈川県アンサンブルコンテスト ・神奈川県中学校演劇発表会	各種大会への派遣費(交通費、大会参加費及び機材等の運搬費)を支給した。 (出場実績) ・神奈川県吹奏楽コンクール ・神奈川県アンサンブルコンテスト ・神奈川県中学校演劇発表会 ・全国中学生創造ものづくり教育フェア ・首都圏学校交歓演奏会 ・神奈川県中学校連合音楽会	各種大会への派遣費(交通費、大会参加費及び機材等の運搬費)を支給した。 (出場実績) ・神奈川県吹奏楽コンクール ・神奈川県中学校演劇発表会 ・全国中学生創造ものづくり教育フェア ・神奈川県中学校連合音楽会

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	部活動等の大会の結果によるものであり、年度毎の執行額の差が大きい。 令和6年度は、令和5年度よりも各種大会への出場が減少したことで、楽器運搬費等が減額されたため、支出額が減額した。
今後の事業 の方向性	県大会やその上位の大会では、開催地が遠方になる場合が多く、そのことに伴い、交通費、大会参加費及び機材等の運搬費の負担が大きくなるため、教育委員会で引き続き、派遣費補助の予算措置を行う。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	71	項目番号	6(3)
事務事業名	中学校各種競技大会経費								所管部課名	学校教育部		
										保健体育課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	各種スポーツ競技大会を開催し、本市中学校生徒の体育スポーツ振興を図る。 体力づくりの推進とともに、競技力の向上を図り、スポーツ活動を通して健全な人格を育成する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・中学校駅伝競走大会(男女)を実施するための必要な支援を行う。(役員審判・救護医師、看護師謝礼金の支給、交通誘導警備員、看板設置、会場設営の委託等) ・中学校各種競技新人大会の事業委託。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	2,776	2,741	2,857	2,883	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	4,462	4,420	4,571	4,580	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績		令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・中学校駅伝競走大会(男女)を実施するための必要な支援を行った。 ・中学校各種競技新人大会の事業を委託した。		・中学校駅伝競走大会(男女)を実施するための必要な支援を行った。 ・中学校各種競技新人大会の事業を委託した。	・中学校駅伝競走大会(男女)を実施するための必要な支援を行った。 ・中学校各種競技新人大会の事業を委託した。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	物価や人件費の上昇により、各種委託料やメダル代などの経費が増加した。		
今後の事業 の方向性	中学校運動部活動の活性化に資する事業や県大会の出場につながる事業であるため、継続していく。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	3	目	2	説明資料	71	項目番号	6(4)
事務事業名	中学校総合体育大会経費									所管部課名	学校教育部		
											保健体育課		

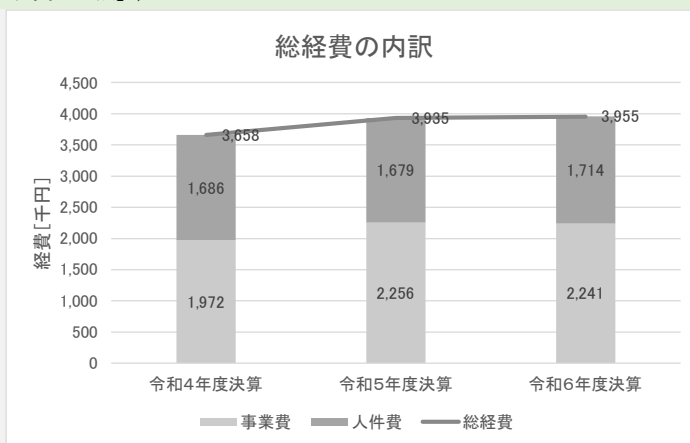
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	中学校生徒のスポーツ奨励と技術向上を図るとともに、生徒の健全育成に資する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・市内中学校生徒を対象に、横須賀市中学校総合体育大会を開催するための必要な支援を行う。 (役員審判、模範演技者の謝礼、入賞メダル、大会プログラムの作成等) ・本大会は上位大会(県・関東・全国)への予選会も兼ねることがある。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,972	2,256	2,241	2,305	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	3,658	3,935	3,955	4,002	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・市内中学校生徒を対象に、横須賀市中学校総合体育大会を開催するための必要な支援を行った。(役員審判、模範演技者の謝礼、入賞メダル、大会プログラムの作成等)	・市内中学校生徒を対象に、横須賀市中学校総合体育大会を開催するための必要な支援を行った。(役員審判、模範演技者の謝礼、入賞メダル、大会プログラムの作成等)	・市内中学校生徒を対象に、横須賀市中学校総合体育大会を開催するための必要な支援を行った。(役員審判、模範演技者の謝礼、入賞メダル、大会プログラムの作成等)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和6年度は、正規職員の人件費単価が上昇したため、前年度と比べて微増となった。	
今後の事業の方向性	本市中学校運動部活動の活性化を図るため、また、県大会につながる種目となっているため、事業を継続する。	

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	3	目	3	説明資料	73	項目番号	1(1)
事務事業名	給食センター運営費									所管部課名	学校教育部		
											学校食育課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	食育基本法、学校給食法、同法施行令、学校給食実施基準、横須賀市給食条例、同条例施行規則						
事業目的	学校給食センターの維持管理・運営を行い、安全・安心な給食を提供する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・令和3年9月下旬に開業し、市立中学校全23校に対し完全給食の提供を開始した。 ・給食提供に滞りが発生しないよう、学校給食センターの維持管理・運営等を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	547,957	568,117	584,109	587,071	千円
b 人件費	7,588	7,556	7,714	7,635	千円
正規職員	0.9	0.9	0.9	0.9	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	555,545	575,673	591,823	594,706	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・学校給食センター維持管理・運営 ・給食提供回数 1・2年生 180回 3年生 163回		・学校給食センター維持管理・運営 ・給食提供回数 1・2年生 180回 3年生 163回	・学校給食センター維持管理・運営 ・給食提供回数 1・2年生 180回 3年生 163回
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度、令和6年度とも契約書に基づき、物価変動に伴う給食センター維持管理・運営委託料の改定を行ったため、事業費が増加した。		
今後の事業 の方向性	安全・安心な学校給食を安定的に提供するため、事業を継続する。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	1	説明資料	75	項目番号	2(1)(2)(4)
事務事業名	学校運営費(全日制高等学校)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第2条～5条						
事業目的	学校を健全かつ円滑に運営していくための管理用消耗品やプロパンガス、ガソリンなどの燃料、学校要覧などの印刷等需用費の執行、建物や備品などの小破修繕、公用車の維持費、学校庁用器具の購入など。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	18,633	17,975	15,827	16,563	千円
b 人件費	8,652	8,635	8,844	8,732	千円
正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	221	239	273	249	千円
総経費（a + b）	27,285	26,610	24,671	25,295	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・小破修繕の実施 60件 9,521,409円 ・その他 消耗品、通信費、備品購入等運営に係る経費 9,111,880円	・小破修繕の実施 43件 8,745,493円 ・その他 消耗品、通信費、備品購入等運営に係る経費 9,229,688円	・小破修繕の実施 32件 7,550,350円 ・その他 消耗品、通信費、備品購入等運営に係る経費 8,276,425円

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	横須賀総合高等学校は平成15年に開校し現在に至っている。 建物・設備・機器は年数が経過することにより老朽化が進み小破修繕は増加する傾向である。 修繕実施には予算面を考慮し、緊急性等優先順位付けを行い平準化できるよう努めている。
今後の事業の方向性	教育活動に影響がでないよう定期的な点検と保守点検業者の報告等を注視し、必要な修繕を速やかに行うことで円滑な学校運営が行えるよう努める。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	1	説明資料	76	項目番号	2(3)
事務事業名	学校運営費(全日制高等学校)(教育指導関係経費)								所管部課名	学校教育部		
										教育指導課		

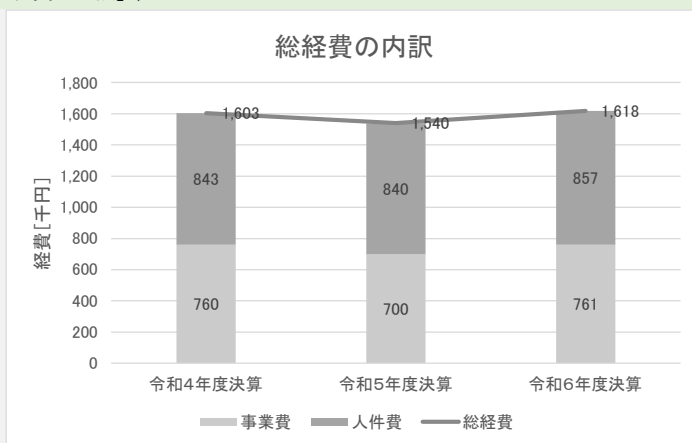
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	身体に障害があり、教育活動及び校外学習において、支障をきたす可能性がある生徒に対し、支援助員を配置することにより教育活動の一層の充実を図る。 また、生徒一人一人の自己実現を図り、キャリア意識を育成すること、コミュニケーション能力の育成を目指す。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・介助を要する生徒に対し介助員を配置する。 ・外部講師を派遣し、キャリア意識の醸成を目的とし「羅針」・「産業社会と人間」、また、コミュニケーション能力の育成を目的とし「国語表現」の授業を設定する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	760	700	761	914	千円
b 人件費	843	840	857	961	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	113	千円
総経費（a + b）	1,603	1,540	1,618	1,875	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・横須賀総合高校に外部講師を派遣した。	・横須賀総合高校に外部講師を派遣した。	・横須賀総合高校に外部講師を派遣した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和4年度から令和6年度にかけて、介助を要する生徒がいなかったため介助員の配置はなかった。 令和2年度以降、横須賀総合高校への外部講師派遣を行っているため、講師謝礼の支出は継続している。
今後の事業 の方向性	介助員については、横須賀総合高校の教育の質を担保するという意味でも、生徒の実態に応じた介助員の配置は継続していく。 外部講師の派遣については、キャリア意識を育成すること、コミュニケーション能力の育成に資する事業のため継続していく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	4	目	1	説明資料	76	項目番号	3
事務事業名	学校警備費(高等学校)										所管部課名	教育総務部		
												学校管理課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	全部委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	市立横須賀総合高等学校の施設設備等の保全、防犯等安全を期する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	警備会社に機械警備及び校内巡視警備(有人警備)を委託し、学校内の警備を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	19,132	20,256	25,251	25,272	千円
b 人件費	843	840	857	8,483	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	1.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	19,975	21,096	26,108	33,755	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績		令和6年度の活動実績	
市立横須賀総合高等学校は、本校舎敷地外周にフェンス等が設置されていないことから、制約なく誰でも敷地内に入れる状況であるため、警備員を配置し、生徒の安全と施設保全を確保した。併せて機械警備を実施した。 ・機械警備委託料 1,312千円 ・有人警備委託料 17,820千円		市立横須賀総合高等学校は、本校舎敷地外周にフェンス等が設置されていないことから、制約なく誰でも敷地内に入れる状況であるため、警備員を配置し、生徒の安全と施設保全を確保した。併せて機械警備を実施した。 ・機械警備委託料 1,312千円 ・有人警備委託料 18,810千円 ・有人警備委託料(文化祭等) 134千円		市立横須賀総合高等学校は、本校舎敷地外周にフェンス等が設置されていないことから、制約なく誰でも敷地内に入れる状況であるため、警備員を配置し、生徒の安全と施設保全を確保した。併せて機械警備を実施した。 ・機械警備委託料 1,312千円 ・有人警備委託料 23,760千円 ・有人警備委託料(文化祭等) 179千円	
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和5年度は次の2点から前年度よりも事業費が増加した。 ・コロナ禍により縮小していた文化祭等を通常開催したことに伴い、行事の際の有人警備委託を再開した。 ・令和6年1月末に契約満了した有人警備(長期継続契約)委託について入札を行った結果、令和6年2月から委託金額が上昇した。 令和6年度は、前年度入札により契約した有人警備(長期継続契約)委託料の上昇が12か月分となったため、前年度よりも事業費が上昇した。				
今後の事業の方向性	市立横須賀総合高等学校の施設設備等の保全、防犯等安全を期するためには、不可欠な事業であるので継続する。				

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	1	説明資料	76	項目番号	4
事務事業名	学校プール運営費(全日制高等学校)								所管部課名	学校教育部		
										保健体育課		

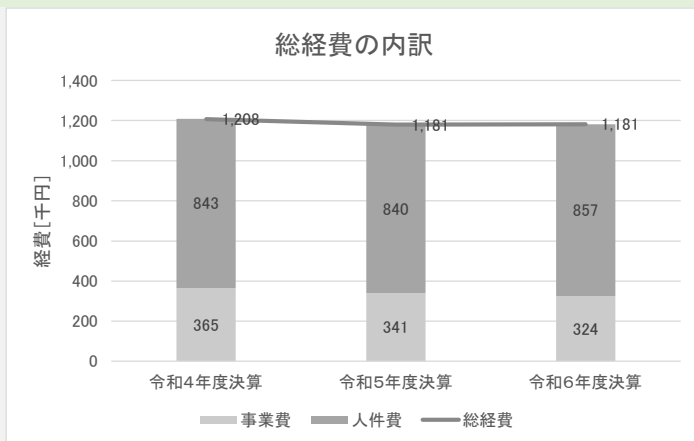
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令	学校保健安全法						
事業目的	市立横須賀総合高等学校の水泳プールの運営を行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・塩素剤などプールに必要な薬品の一括購入を行う。 ・夏季休業期間の管理をプール管理員に委託。 （教育委員会から管理員に直接委託） ・使用開始前のプール清掃委託及びろ過機の保守管理委託を行う。 ・水質検査の実施(年2回)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	365	341	324	406	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	1,208	1,181	1,181	1,254	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・塩素剤などプールに必要な薬品の一括購入 ・夏季休業期間の管理を学校のプール運営委員会に委託 ・プール清掃委託及びびろ過機の保守管理委託実施 ・水質検査の実施(2回)		・塩素剤などプールに必要な薬品の一括購入 ・夏季休業期間の管理を学校のプール運営委員会に委託 ・プール清掃委託及びびろ過機の保守管理委託実施 ・水質検査の実施(2回)	・塩素剤などプールに必要な薬品の一括購入 ・夏季休業期間の管理をプール管理員に委託。 (教育委員会から管理員に直接委託) ・プール清掃委託及びびろ過機の保守管理委託実施 ・水質検査の実施(2回)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和5年度は、ろ過装置の使用後点検がメーカーの都合により実施できなかったため、委託料が前年度よりも低かった。 令和6年度は、令和5年度末にろ過装置を更新したため、保守点検委託料の請求がなかった。		
今後の事業 の方向性	市立横須賀総合高等学校水泳プールの維持管理を統一して行うため、当面は維持継続していく。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	1	説明資料	77	項目番号	5
事務事業名	学校施設維持管理費(高等学校)								所管部課名	教育総務部		
										学校管理課		

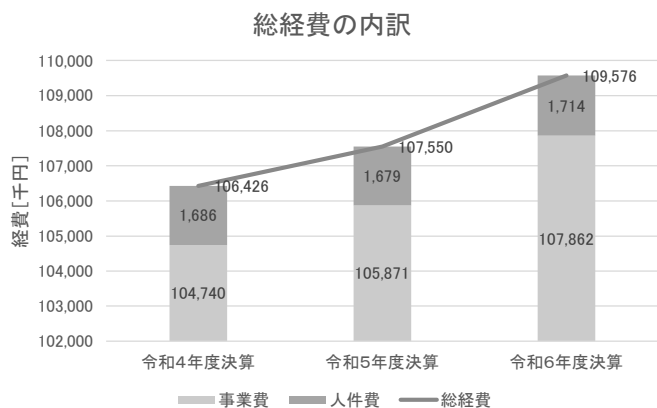
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	国・県	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	施設の維持管理に係る業務						
根拠法令							
事業目的	市立横須賀総合高等学校の財産及び施設設備の管理保全					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・光熱水費等の支出。 ・清掃委託、保守管理委託及び点検業務委託を行うことによって、施設設備の故障、事故の未然防止及び良好な使用につなげる。 ・学校用地管理のための境界確定協議及び測量を必要に応じて実施。 ・行政財産目的外使用許可により使用した電気、水道料金実費相当額を徴収し、財源に充当。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	104,740	105,871	107,862	120,528	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	106,426	107,550	109,576	122,225	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・トイレ、窓ガラス清掃 ・受水槽給水設備点検 ・自家用電気工作物点検 ・エレベータ保守点検 ・空調設備等保守点検 ・体育器具等点検 ・消防設備点検 ・ホール、体育館舞台設備等点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・施設修繕ほか		・トイレ、窓ガラス清掃 ・受水槽給水設備点検 ・自家用電気工作物点検 ・エレベータ保守点検 ・空調設備等保守点検 ・体育器具等点検 ・消防設備点検 ・ホール、体育館舞台設備等点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・施設修繕ほか	・トイレ、窓ガラス清掃 ・受水槽給水設備点検 ・自家用電気工作物点検 ・エレベータ保守点検 ・空調設備等保守点検 ・体育器具等点検 ・消防設備点検 ・ホール、体育館舞台設備等点検 ・樹木等管理委託 ・建築基準法第12条点検 ・光熱水費、電話料金等 ・施設修繕ほか
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和4年度は、光熱費の高騰により需用費が増加したほか、中央監視装置のシステム更新により委託料が増加した。 令和5年度は、機器の故障等により緊急修繕を実施したため修繕料が増加した。 令和6年度は、修繕対象の減少により修繕料が減少したが、人件費等による保守管理委託料の上昇により全体として事業費が増加した。		
今後の事業 の方向性	市立横須賀総合高等学校の施設設備等の維持、安全確保のためには、不可欠な事業であるので継続する。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	1	説明資料	78	項目番号	6(1)
事務事業名	事務費等(教職員関係)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

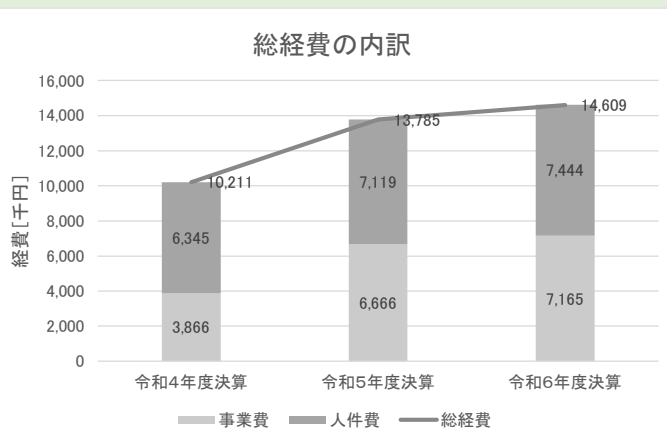
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第2条～第5条						
事業目的	教育の充実と学校を健全かつ円滑に運営していくために必要な旅費等を支出する。 教員の事務的業務負担軽減のため、教員業務支援員(スクール・サポート・スタッフ)を任用する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	市立横須賀総合高校(全日制)における教育の充実と学校の円滑な運営を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	3,866	6,666	7,165	8,025	千円
b 人件費	6,345	7,119	7,444	7,242	千円
正規職員	0.7	0.7	0.7	0.7	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	443	1,242	1,444	1,304	千円
総経費（a ＋ b）	10,211	13,785	14,609	15,267	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
教職員の出張に関する旅費を支出した。 ・普通旅費(日帰り) 925,225円 ・普通旅費(宿泊) 2,940,294円 ・特別旅費(海外) 0円		スクール・サポート・スタッフ 1名 教職員の出張に関する旅費等 ・普通旅費(日帰り) 941,769円 ・普通旅費(宿泊) 942,474円 ・特別旅費(海外) 4,782,138円	スクール・サポート・スタッフ 1名 教職員の出張に関する旅費等 ・普通旅費(日帰り) 950,485円 ・普通旅費(宿泊) 1,154,686円 ・特別旅費(海外) 5,053,700円 ・有料道路通行料 5,700円
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和2年度から3年度まで、新型コロナウイルスの影響で修学旅行(海外)を中止していたが、令和4年度は修学旅行を国内(沖縄)に変更し実施した。 令和5年度は、従来どおり海外(シンガポール)への修学旅行を実施したため、令和4年度より支出が増加している。 令和6年度も、海外(シンガポール)への修学旅行を実施したため同様の支出となっている。		
今後の事業 の方向性	令和5年度以降は、修学旅行を従来どおり海外(シンガポール)での実施としているため、毎年同額程度の特別旅費が見込まれる。		

令和7年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	4	目	1	説明資料	78	項目番号	6(2)																
事務事業名		事務費等(全日制高等学校)(校長会等負担金)									所管部課名	教育総務部 横須賀総合高等学校																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営		財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込	未定																			
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務																													
根拠法令	学校教育法第2条～第5条																													
事業目的	全日制高校の校長会等各種団体に参加して、学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行い、学校教育の推進及び学校経営の充実発展に資する。									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																			
具体的な事業内容	各種団体への会費の支出																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																														
区 分					令和4年度決算		令和5年度決算		令和6年度決算		令和6年度予算		単位																	
a 事業費（予算現額・支出済額）					167		180		157		254		千円																	
b 人件費					4,659		4,677		4,832		4,739		千円																	
正規職員					0.5		0.5		0.5		0.5		人																	
再任用職員（短時間を含む）					0.0		0.0		0.0		0.0		人																	
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					443		479		546		497		千円																	
総経費（a + b）					4,826		4,857		4,989		4,993		千円																	
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>167</td><td>4,659</td><td>4,826</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>180</td><td>4,677</td><td>4,857</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>157</td><td>4,832</td><td>4,989</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	167	4,659	4,826	令和5年度決算	180	4,677	4,857	令和6年度決算	157	4,832	4,989
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和4年度決算	167	4,659	4,826																											
令和5年度決算	180	4,677	4,857																											
令和6年度決算	157	4,832	4,989																											
令和4年度の活動実績					令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績																				
・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 16件					・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 18件					・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 16件																				
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行うため、校長等が、各種団体が主催する会議、研修会等に出席し最新の情報を入手している。団体に加入することで、最新の研究結果や他校との情報交換により情報が入手できることは、横須賀総合高等学校の運営にとって非常に有益なものとなっている。																													
今後の事業の方向性	今後も団体加入を継続することで、団体を通じて入手できる情報を活用し、横須賀総合高等学校の運営の充実を図る。																													

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	4	目	2	説明資料	79	項目番号	2(1)(2)(3)(4)
事務事業名	学校運営費(全日制高等学校)									所管部課名	教育総務部		
											横須賀総合高等学校		

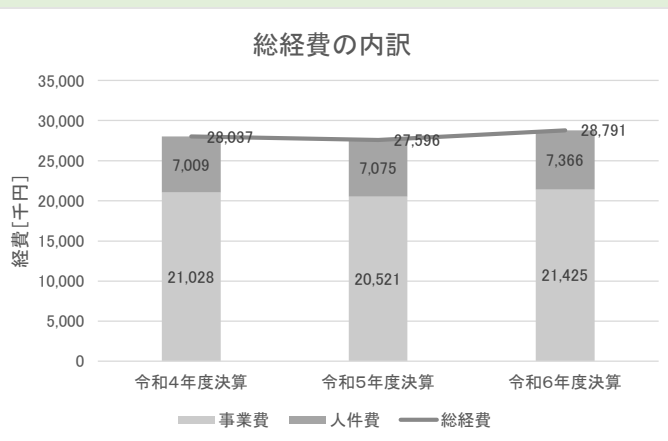
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令	学校教育法第2条～第5条						
事業目的	教育活動に必要な一般教材、実験、実習教材等の購入。 パソコン等の修繕。実習教材及び情報関連機器教材の修繕。 社会人講演会等各種講演会の開催。 「履修の手引き」等の印刷。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	市立横須賀総合高等学校(全日制)の一般教材、実験、実習教材ほか教育活動上必要な経費を整備し、教育内容の充実を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	21,028	20,521	21,425	22,227	千円
b 人件費	7,009	7,075	7,366	7,182	千円
正規職員	0.7	0.7	0.7	0.7	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	1,107	1,198	1,366	1,244	千円
総経費（a ＋ b）	28,037	27,596	28,791	29,409	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
- 講演会の実施 新入生を対象に性教育、薬物防止講演会を実施。 - 印刷物の作成 新入生のしおり等の作成を行った。 - PC等実習教材の修繕の実施 情報機器、楽器等の修繕を行った。 - 教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。		- 講演会の実施 新入生を対象に性教育講演会を実施。 - 印刷物の作成 新入生のしおり等の作成を行った。 - PC等実習教材の修繕の実施 情報機器、楽器等の修繕を行った。 - 教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。	- 講演会の実施 新入生を対象に性教育講演会を実施。 - 印刷物の作成 新入生のしおり等の作成を行った。 - PC等実習教材の修繕の実施 情報機器、楽器等の修繕を行った。 - 教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）		当事業は教材費の購入や新入生に配布するしおり等、学校運営を行う上で、固定経費的な要素が強い事業である。生徒の学習意欲向上のため、教科ごとに調整を行いながら教材を購入し安定した運営が行えている。	
今後の事業の方向性		生徒の学習意欲向上に効果が発揮できるよう、教科ごとに購入教材についての打ち合わせを実施する。配当を受けた予算に対し、校内予算会議で各教科に適正な予算配分が行えるよう校内調整を行う。	

令和7年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	4	目	2	説明資料	80	項目番号	3(2)																
事務事業名		学校保健費(全日制高等学校)									所管部課名	教育総務部 横須賀総合高等学校																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																							
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務																													
根拠法令	学校保健安全法																													
事業目的	生徒用健康手帳の購入。 保健室用消耗品、医薬材料の購入。 救急患者移送用タクシー借上げ。									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																			
具体的な事業内容	市立横須賀総合高等学校(全日制)の学校保健業務の円滑化を図るため、学校環境衛生の管理、保健室の充実等に努める。																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位																					
a 事業費(予算現額・支出済額)					213	199	214	228	千円																					
b 人件費					843	840	857	848	千円																					
正規職員					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
再任用職員(短時間を含む)					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)					0	0	0	0	千円																					
総経費(a + b)					1,056	1,039	1,071	1,076	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>213</td><td>843</td><td>1,056</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>199</td><td>840</td><td>1,039</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>214</td><td>857</td><td>1,071</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	213	843	1,056	令和5年度決算	199	840	1,039	令和6年度決算	214	857	1,071
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和4年度決算	213	843	1,056																											
令和5年度決算	199	840	1,039																											
令和6年度決算	214	857	1,071																											
令和4年度の活動実績					令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績																				
健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うための事業を実施した。 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入					健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うための事業を実施した。 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入					健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うための事業を実施した。 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)		全日制保健室を適正に運営するための費用であり、学校の運営上必要不可欠な予算である。 予算は固定経費的な要素が非常に強いため、大幅な予算増減が少ない事業である。																												
今後の事業の方向性		保健を取り巻く様々な環境の変化に対し、保護者、生徒の保健に関する要望は今後も強くなることが想定される。 生徒の健康維持のため安定的な運用ができるよう努める。																												

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	2	説明資料	81	項目番号	4(1)
事務事業名	運動部活動強化育成事業費								所管部課名	学校教育部		
										保健体育課		

(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市立横須賀総合高等学校の運動部活動の活性化を図り、全国レベルの大会での活躍を目指す。 部活動指導員の配置や部活動技術指導者の派遣など、顧問(教員)の業務負担軽減や、練習環境の充実のため、運動部活動のサポートを検討・実施する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・市立横須賀総合高等学校に運動部活動指導者7人(7運動部活動)の報償費及び関東・全国大会出場激励金の支給 ・部活動指導員1人の配置 ・運動部活動への消耗品及び備品の購入、用具・器具の整備						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	5,457	4,972	5,036	6,528	千円
b 人件費	1,794	1,787	1,819	1,809	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	108	108	105	112	千円
総経費（a + b）	7,251	6,759	6,855	8,337	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績		令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・市立横須賀総合高等学校に運動部活動指導者7人（7運動部活動）に派遣した。 ・部活動指導員1人を配置した。 ・運動部活動への消耗品と備品を購入した。用具・器具を整備した。		・市立横須賀総合高等学校に運動部活動指導者7人（7運動部活動）に派遣した。 ・部活動指導員1人を配置した。 ・運動部活動への消耗品と備品を購入した。用具・器具を整備した。	・市立横須賀総合高等学校に運動部活動指導者7人（7運動部活動）に派遣した。 ・部活動指導員1人を配置した。 ・運動部活動への消耗品と備品を購入した。用具・器具を整備した。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	全国・関東大会の開催地により、部活動技術指導者激励金の増減がある。 令和5年度は、消耗品費の支出額が減少したため、総経費が例年を下回っている。 令和6年度は、部活動技術指導者の活動時間数が前年より増加したため、総経費が例年を上回っている。		
今後の事業 の方向性	部活動技術指導者の派遣、部活動指導員の配置は、学校からの要望もあり、技術指導の支援や顧問教員の負担軽減に役立っているため、引き続き継続していく。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	4	目	2	説明資料	81	項目番号	4(2)
事務事業名	文化部育成事業費										所管部課名	学校教育部		
												教育指導課		

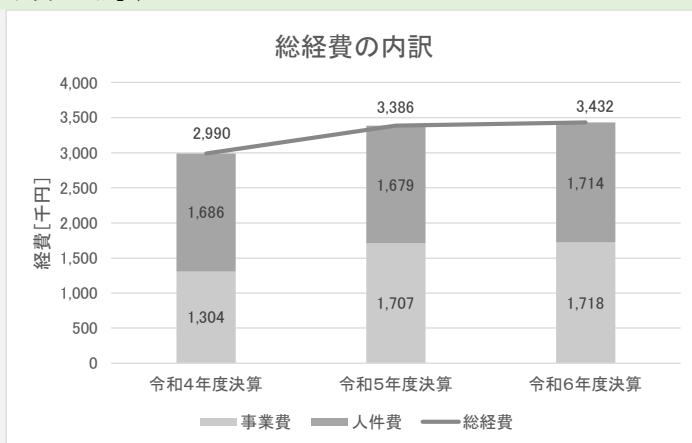
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市立横須賀総合高等学校を対象とする。 技術指導の困難な部等を中心に専門の指導者を派遣し、生徒のニーズにこたえとともに、部活動顧問の負担を軽減し、部活動の活性化を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	横須賀総合高校の吹奏楽部、箏曲部、茶道部、室内楽部、美術部、書道部に部活動技術指導者を各1名派遣する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	1,304	1,707	1,718	2,972	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	2,990	3,386	3,432	4,669	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・部活動技術指導者（報償金対象者）を5人派遣した。	・部活動技術指導者（報償金対象者）を5人派遣した。	・部活動技術指導者（報償金対象者）を6人派遣した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	吹奏楽部の東関東大会出場等の活躍による練習時間の増、美術部の指導体制変更による部活動技術指導者の予算化の必要性に伴い、令和6年度の総経費は増額となっている。
今後の事業 の方向性	部活動における技術的な強化事業であると同時に、部活動顧問における負担軽減の観点から、教職員の働き方改革にも資するため、今後も継続して取り組む必要がある。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	4	目	2	説明資料	81	項目番号	5
事務事業名	高等学校国際交流支援事業費								所管部課名	学校教育部		
										教育指導課		

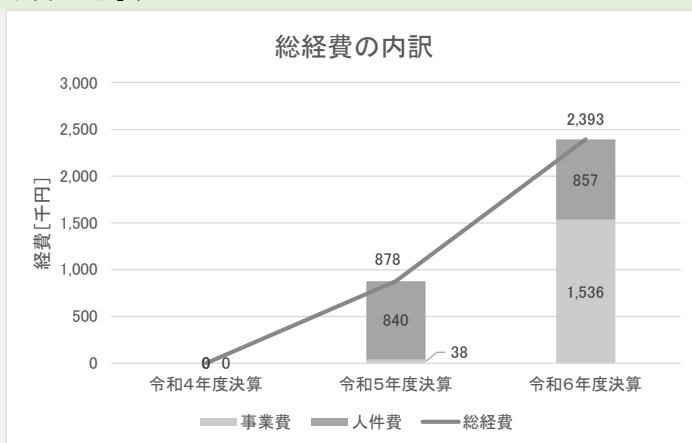
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	横須賀市立横須賀総合高等学校を対象とする。 オーストラリア・クイーンズランド州・ゴールドコースト市にあるエラノラ高校と国際交流を行い、友好を深める。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・エラノラ高校の生徒15人と教員2人を1週間受け入れ、横須賀総合高校の職員及び生徒との交流を図る。(隔年実施 平成8年度から交流) ・エラノラ高校へ国際交流のため横須賀総合高校の生徒20人と教員2人を2週間短期研修として派遣する。(毎年実施 平成8年度から交流、平成24年度から毎年実施)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	0	38	1,536	1,586	千円
b 人件費	0	840	857	848	千円
正規職員	0.0	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	0	878	2,393	2,434	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
	・オーストラリア州立エラノラ高校との国際交流は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止した。	・オーストラリア州立エラノラ高校生徒の短期留学の受け入れを行った。	・オーストラリア州立エラノラ高校生徒の短期留学の受け入れは隔年実施のため行わなかった。 ・エラノラ高校へ国際交流のため横須賀総合高校の生徒15人と教員2人を10日間短期研修として派遣した。
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	毎年応募者の増減がある。 令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止した。 令和5年度は、オーストラリア州立エラノラ高校生徒の短期留学の受け入れを行い、横須賀市立横須賀総合高等学校国際交流委員会への委託費用が発生した。 令和6年度は、オーストラリア州立エラノラ高校生徒の短期留学の受け入れは隔年実施のため行わなかったが、横須賀総合高校生徒を派遣したため、総経費は増額した。		
今後の事業の方向性	海外現地校との国際交流は、友好親善と交流を図り、英語を通して異文化圏の生活や習慣について理解を深める事業であるため継続していく。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	4	目	2	説明資料	82	項目番号	6(1)
事務事業名	高等学校各種競技大会経費									所管部課名	学校教育部		
											保健体育課		

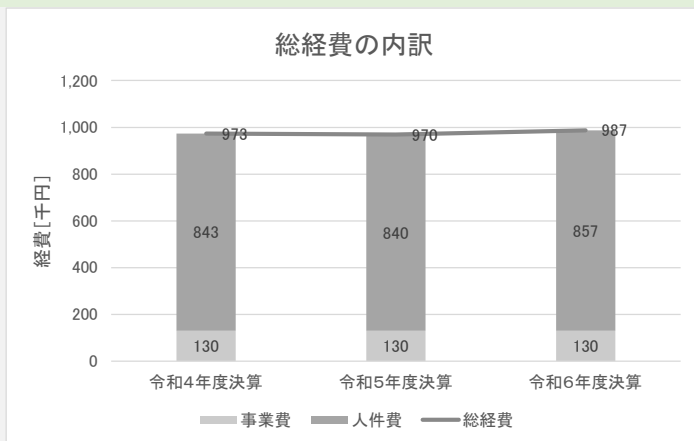
(1) 事務事業の概要

実施分類	補助金等	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務							
根拠法令								
事業目的	横三地区高等学校生徒の体育・スポーツ振興と学校相互の親睦を深め、心身ともに健全な育成を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	横三地区高等学校総合体育大会への補助金の交付							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	130	130	130	130	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	973	970	987	978	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・横三地区高等学校総合体育大会の補助金を交付した。	・横三地区高等学校総合体育大会の補助金を交付した。	・横三地区高等学校総合体育大会の補助金を交付した。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	令和4・5年度は、感染症対策を講じつつ、通常規模で大会が開催されることに伴い、大会主催者より補助金申請があったため、補助金を交付した。 令和6年度は、通常規模で大会が開催されることに伴い、大会主催者より補助金申請があったため、補助金を交付した。
今後の事業 の方向性	各種スポーツ競技の学校間の交流を通じて、横須賀三浦地区高等学校生徒の技術習得・向上に寄与しており、維持継続していく。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	4	目	2	説明資料	82	項目番号	6(2)①
事務事業名	全国、関東、高等学校各種大会選手派遣費(全日制高等学校)(体育関係)										所管部課名	学校教育部		
												保健体育課		

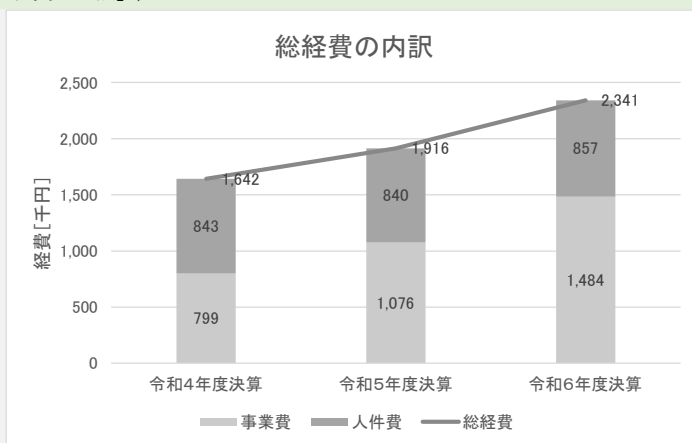
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市立横須賀総合高等学校生徒の体育・スポーツの奨励と心身の健全な育成を図る。 全国、関東大会に派遣することで優秀選手としての自覚を高め、人格を形成しヘルプアップを図る。 県代表として、全国大会に出場する市立横須賀総合高等学校に対して、激励と一般市民へのPRを兼ねて懸垂幕(横断幕)を作成、掲示すると同時に学校の経費負担軽減を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・関東、全国大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給する(対象:市立横須賀総合高等学校)。 ・全国大会出場に際し、壮行会費用を支給する(対象:市立横須賀総合高等学校)。 ・全国大会出場に際し、学校・生徒の志気の高揚、市民へのPRのため、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示する(対象:市立横須賀総合高等学校)。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	799	1,076	1,484	2,747	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	1,642	1,916	2,341	3,595	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
--------------	--------------	--------------

・全国・関東大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国大会出場に際し、壮行会費用を支給、懸垂幕(横断幕)を作成した。	・全国・関東大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校)	・全国・関東大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校)
---	---	---

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	激励費の支給額については、全国・関東大会の開催地や、出場生徒数によって増減する。
今後の事業 の方向性	全日制高等学校生徒の体育・スポーツの奨励と心身の健全な育成、全国・関東大会の出場資格を得た生徒の出場機会を保障するため、事業を継続する。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	4	目	2	説明資料	82	項目番号	6(2)②
事務事業名	全国、関東、高等学校各種大会選手派遣費(全日制高等学校)(文化関係)										所管部課名	学校教育部		
												教育指導課		

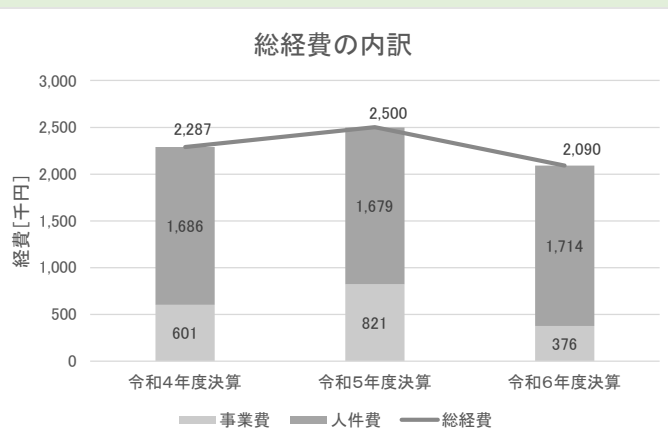
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	市内高等学校(市立、私立)を対象とする。 大会に優秀部員を派遣し、本市高等学校生徒の力を発揮してもらう。それとともに相互交流も図り、文化部活動の充実、質的向上、活性化を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	全国大会及び関東大会等高等学校生徒の大会派遣にかかる交通費、大会参加費及び運搬費を支給する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	601	821	376	1,021	千円
b 人件費	1,686	1,679	1,714	1,697	千円
正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a ＋ b）	2,287	2,500	2,090	2,718	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
各種大会への派遣費(交通費、大会参加費及び機材等の運搬費)を支給した。 (出場実績) ・全国高等学校総合文化祭 ・東関東吹奏楽コンクール ・全国パソコン技能競技大会 ・全国高等学校ワープロ競技大会	各種大会への派遣費(交通費、大会参加費及び機材等の運搬費)を支給した。 (出場実績) ・全国高等学校総合文化祭 ・全国パソコン技能競技大会 ・全国高等学校ワープロ競技大会	各種大会への派遣費(交通費、大会参加費及び機材等の運搬費)を支給した。 (出場実績) ・全国高等学校総合文化祭 ・全国高等学校ワープロ競技大会

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	経費は、部活動等の大会の結果や開催場所によるものであり、年度ごとに経費が増減する。
今後の事業 の方向性	県大会やその上位の大会では、開催地が遠方になる場合が多く、そのことに伴い、交通費、大会参加費及び機材等の運搬費の負担が大きくなるため、教育委員会で引き続き、派遣費補助の予算措置を行う。

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計		款	11	項	5	目	1	説明資料		84	項目番号	2(1)(4)																
事務事業名		事務費等(定時制高等学校)									所管部課名		教育総務部 横須賀総合高等学校																		
(1) 事務事業の概要																															
実施分類	直営		財源構成		市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務																														
根拠法令	学校教育法第2条～第5条																														
事業目的	学校を健全かつ円滑に運営していくための管理用消耗品や灯油などの燃料、卒業証書等の印刷等需用費の執行。										分野別計画		横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容	学校を健全かつ円滑に運営していくため、市立横須賀総合高等学校(定時制)の適切な管理運営を行う。																														
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																															
区 分						令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位																					
a 事業費(予算現額・支出済額)						403	402	381	458	千円																					
b 人件費						1,480	1,535	1,627	1,509	千円																					
正規職員						0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
再任用職員(短時間を含む)						0.2	0.2	0.2	0.2	人																					
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)						443	479	546	498	千円																					
総経費(a + b)						1,883	1,937	2,008	1,967	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)																															
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>403</td><td>1,480</td><td>1,883</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>402</td><td>1,535</td><td>1,937</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>381</td><td>1,627</td><td>2,008</td></tr></tbody></table>																年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	403	1,480	1,883	令和5年度決算	402	1,535	1,937	令和6年度決算	381	1,627	2,008
年度	事業費	人件費	総経費																												
令和4年度決算	403	1,480	1,883																												
令和5年度決算	402	1,535	1,937																												
令和6年度決算	381	1,627	2,008																												
令和4年度の活動実績				令和5年度の活動実績				令和6年度の活動実績																							
定時制の運営に関する経費を支出した。 ・消耗品、通信費、印刷製本費等運営に係る経費				定時制の運営に関する経費を支出した。 ・消耗品、通信費、印刷製本費等運営に係る経費				定時制の運営に関する経費を支出した。 ・消耗品、通信費、印刷製本費等運営に係る経費																							
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	定時制の学校運営に必要な経費であり、固定経費的な要素が強い予算である。																														
今後の事業の方向性	消耗品等の価格が高騰する中で安定的な運用ができるように努める。																														

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	5	目	1	説明資料	84	項目番号	2(2)
事務事業名	事務費等(定時制高等学校)(教職員関係)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

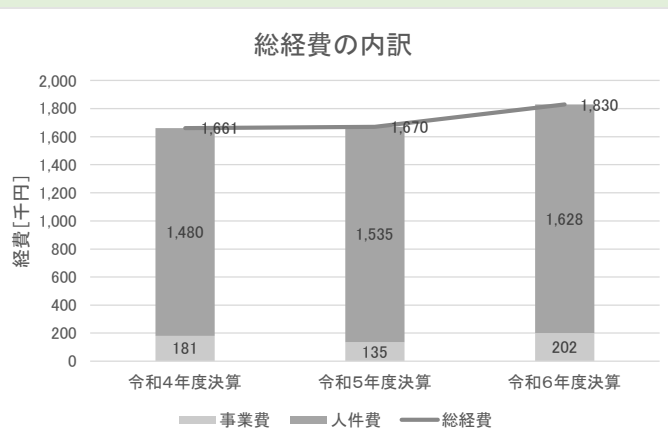
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第2条～第5条						
事業目的	市費職員（養護教諭、校長）の生徒引率や出張に対しての旅費支給を行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・市立横須賀総合高等学校（定時制）における教育の充実と学校の円滑な運営を図る。 ・養護教諭が生徒の付添として修学旅行等を行う旅費及び校長（併任）の出張旅費。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	181	135	202	284	千円
b 人件費	1,480	1,535	1,628	1,509	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.2	0.2	0.2	0.2	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	443	479	547	498	千円
総経費（a + b）	1,661	1,670	1,830	1,793	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績		令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・教職員の出張に関する旅費を支出した。 普通旅費 181,485円		・教職員の出張に関する旅費を支出した。 普通旅費 134,980円	・教職員の出張に関する旅費を支出した。 普通旅費 202,220円
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の 増減理由等）	修学旅行の安全性を確保するため、養護教諭と管理職の同行を必要としている。 同行する管理職(校長・教頭)によって支出額が増減している。 * 校長(市費)・教頭(県費)		
今後の事業 の方向性	修学旅行については、保護者・生徒の経済的な負担が大きくならないよう行先や内容等について研究を進め、令和7年度から旅行先を沖縄から広島へ変更している。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	5	目	1	説明資料	84	項目番号	2(3)
事務事業名	事務費等(定時制高等学校)(教育指導関係経費)								所管部課名	学校教育部		
										教育指導課		

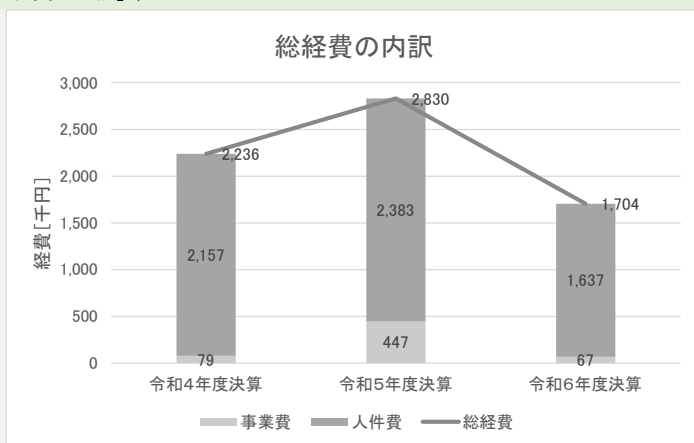
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	国・県	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	身体に障害があり、教育活動及び校外学習において、支障をきたす可能性がある生徒に対し、支援介助員を配置することにより教育活動の一層の充実を図る。 また、学び直し支援金により在籍する生徒への補助を行う。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・介助を要する生徒に対し介助員を配置する。 ・定時制に在籍する該当生徒への学び直し支援金（授業料補助）の支給を行う。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	79	447	67	167	千円
b 人件費	2,157	2,383	1,637	4,521	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	1,314	1,543	780	3,673	千円
総経費（a + b）	2,236	2,830	1,704	4,688	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績		令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・学び直し支援金を支給した。 ・横須賀総合高校(定時制)に介助員を1人配置した。		・学び直し支援金を支給した。 ・横須賀総合高校(定時制)に介助員を2人配置した。	・学び直し支援金を支給した。 ・横須賀総合高校(定時制)に介助員を1人配置した。
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和4年度は、介助を要する生徒の在籍が減った等の理由により、介助員の配置が減ったため経費が抑制された。 令和5年度は、介助員1名増に加え、介助員の修学旅行付き添い等による報償金、旅費の支出により、前年度よりも総経費が増額となった。 令和6年度は、介助を要する生徒が1名であった。該当生徒は修学旅行に行く年次ではなかったため、修学旅行付き添いの介助員の配置はなかった。		
今後の事業 の方向性	介助員については、横須賀総合高校の教育の質を担保するという意味でも、生徒の実態に応じた介助員の配置は継続していく。 学び直し支援金については、国の政策として制度がある限り、公立高校として継続することが適切である。		

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	5	目	1	説明資料	84	項目番号	2(4)
事務事業名	事務費等(定時制高等学校)(校長会等負担金)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

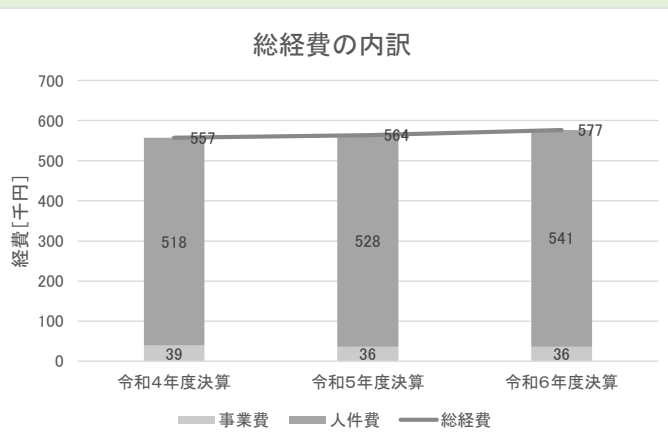
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定	
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務							
根拠法令								
事業目的	定時制高校の校長会等各種団体に参加して、学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行い、学校教育の推進及び学校経営の充実発展に資する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画	
具体的な事業内容	各種団体への会費の支出							

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	39	36	36	39	千円
b 人件費	518	528	541	506	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.1	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	557	564	577	545	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和4年度の活動実績	令和5年度の活動実績	令和6年度の活動実績
・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 6件	・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 6件	・各種団体(全国高等学校長会議等)に対し負担金を納入した。 6件
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	学校運営に関する情報収集・研修・調査研究を行うため、校長等が、各種団体が主催する会議、研修会等に出席し最新の情報を入手している。 団体に加入することで、最新の研究結果や他校との情報交換により情報が入手できることは、横須賀総合高等学校の運営にとって非常に有益なものとなっている。	
今後の事業 の方向性	今後も団体加入を継続することで、団体を通じて入手できる情報を活用し、横須賀総合高等学校の運営の充実を図る。	

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	5	目	2	説明資料	85	項目番号	1(1)(2)
事務事業名	教材費(定時制高等学校)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

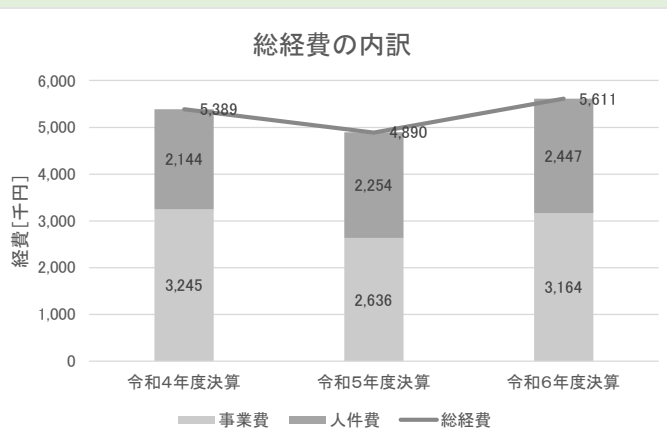
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第2条～第5条						
事業目的	教育活動に必要な一般教材、実験、実習教材等の購入。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	市立横須賀総合高等学校(定時制)の一般教材、実験、実習教材ほか教育活動上必要な経費を整備し、教育内容の充実を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和４年度決算	令和５年度決算	令和６年度決算	令和６年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	3,245	2,636	3,164	3,350	千円
b 人件費	2,144	2,254	2,447	2,255	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.2	0.2	0.2	0.2	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	1,107	1,198	1,366	1,244	千円
総経費（a ＋ b）	5,389	4,890	5,611	5,605	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。	・教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。	・教材費の購入 一般教材、実習教材等の購入を行った。

年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	当事業は定時制教材費の購入を行う費用であり、固定経費的な要素が強い事業である。 生徒の学習意欲向上のため、教科ごとに調整を行いながら教材を購入し安定した運営が行えている。
今後の事業 の方向性	生徒の学習意欲向上に効果が発揮できるよう、教科ごとに購入教材についての打ち合わせを実施する。 配当を受けた予算に対し、各教科担当へ適正な予算配分が行えるよう校内調整を行う。

令和7年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	5	目	2	説明資料	85	項目番号	1(3)																
事務事業名	定時制高等学校費(欠席等連絡ツール使用料)										所管部課名	学校教育部																		
												教育研究所(教育情報担当)																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	部分委託	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																							
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																													
根拠法令	学校教育の情報化の推進に関する法律																													
事業目的	保護者の電話連絡の負担軽減及び学校現場の効率化等のため、保護者から学校への欠席等の連絡が行える電子ツールを導入する。(高校定時制分)										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容	欠席等連絡ツールの使用料(高校定時制分)																													
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分						令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位																				
a 事業費(予算現額・支出済額)								37	37	千円																				
b 人件費						0	0	857	848	千円																				
正規職員								0.1	0.1	人																				
再任用職員(短時間を含む)								0.0	0.0	人																				
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)								0	0	千円																				
総経費(a + b)						0	0	894	885	千円																				
(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table border="1"><caption>総経費の内訳 (単位: 千円)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>37</td><td>857</td><td>894</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	0	0	0	令和5年度決算	0	0	0	令和6年度決算	37	857	894
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和4年度決算	0	0	0																											
令和5年度決算	0	0	0																											
令和6年度決算	37	857	894																											
令和4年度の活動実績					令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績																				
-					-					始業時の時間帯に集中していた電話対応が減少し、教職員が始業時の打合せや授業準備等、本来の業務に専念できる環境となった。学校運営の効率化や業務負担の軽減に寄与した。																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	令和6年度から新設																													
今後の事業の方向性	欠席等連絡ツールについては、学校運営の効率化や業務負担の軽減に資するものとして、今後も継続して活用を進める。加えて、教育委員会等からの保護者への一斉送信について、より効果的な運用方法を必要に応じて検討する。今後も、ICTを活用した連絡体制の充実と学校現場の働き方改革を推進していく。																													

令和7年度 事務事業等の総点検																													
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	5	目	2	説明資料	85	項目番号	2															
事務事業名		教科書給与費									所管部課名	学校教育部 教育指導課																	
(1) 事務事業の概要																													
実施分類	直営	財源構成	市単		受益者負担		なし		事業終了の見込		未定																		
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務																												
根拠法令																													
事業目的	横須賀総合高等学校定時制の有職生徒を対象とする。定時制高等学校で学ぶ勤労青少年の経済的負担を軽減し、教育の機会均等などの充実を図るとともに、生徒の学習意欲の向上を図る。									分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容	就業している横須賀総合高等学校定時制の生徒に対し教科書代金の半額を助成する。																												
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）																													
区 分					令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位																				
a 事業費（予算現額・支出済額）					0	0	0	50	千円																				
b 人件費					0	0	0	0	千円																				
正規職員					0.0	0.0	0.0	0.0	人																				
再任用職員（短時間を含む）					0.0	0.0	0.0	0.0	人																				
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）					0	0	0	0	千円																				
総経費（a + b）					0	0	0	50	千円																				
(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）																													
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>0</td><td>50</td><td>50</td></tr></tbody></table>														年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	0	0	0	令和5年度決算	0	0	0	令和6年度決算	0	50	50
年度	事業費	人件費	総経費																										
令和4年度決算	0	0	0																										
令和5年度決算	0	0	0																										
令和6年度決算	0	50	50																										
令和4年度の活動実績				令和5年度の活動実績				令和6年度の活動実績																					
申請者なし				申請者なし				申請者なし																					
年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）		平成27年6月以降、非課税世帯を対象に県高校生等奨学給付金の制度の拡充、及び生活保護世帯には生業扶助費が支給されることから、平成28年度以降の申請はないのが現状である。																											
今後の事業の方向性		対象となる生徒数が家庭の事情によることから、引き続き予算計上は必要である。																											

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	5	目	2	説明資料	85	項目番号	3(1)
事務事業名	生徒健康管理費(定時制高等学校)									所管部課名	学校教育部		
											保健体育課		

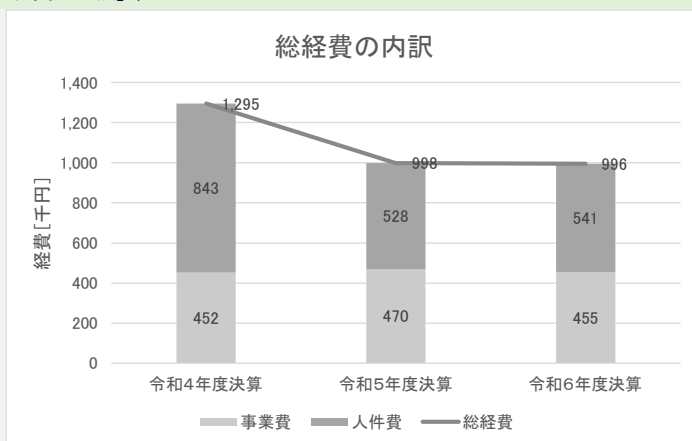
(1) 事務事業の概要

実施分類	部分委託	財源構成	その他	受益者負担	あり	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校保健安全法、独立行政法人日本スポーツ振興センター法						
事業目的	学校における生徒の健康を保持増進し、また、学校管理下における生徒の災害に備え独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入して、学校運営の円滑な実施を確保する。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・学校保健安全法の規定に基づき、生徒の各種健康診断を実施する。 定期健康診断の実施(心臓、尿検査は業務委託) ・学校管理下における生徒の災害に備え、独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済に加入する。 掛金内訳 設置者負担(4/10)、個人負担(6/10)						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	452	470	455	601	千円
b 人件費	843	528	541	506	千円
正規職員	0.1	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.1	0.1	0.1	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	1,295	998	996	1,107	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績		令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・災害共済加入者 180人 ・受検者(心臓検診) 49人 ・受検者(尿検査) 167人		・災害共済加入者 168人 ・受検者(心臓検診)58人 ・受検者(尿検査)152人	・災害共済加入者 166人 ・受検者(心臓検診)53人 ・受検者(尿検査)142人
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	災害共済加入者数や健康診断受診者数は毎年度、同水準を保っている。令和5年度より再入用職員が業務を担当したことにより、人件費が減となっている。		
今後の事業 の方向性	高等学校(定時制)における生徒の健康を保持増進し、また、学校管理下における生徒の災害に備えるため、継続していく必要がある。		

令和7年度 事務事業等の総点検																														
その他事業		会計	一般会計		款	11	項	5	目	2	説明資料	86	項目番号	3(2)																
事務事業名	学校保健費(定時制高等学校)										所管部課名	教育総務部 横須賀総合高等学校																		
(1) 事務事業の概要																														
実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定																							
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務																													
根拠法令																														
事業目的	生徒用健康手帳の購入、保健室用消耗品・医薬材料の購入、救急患者移送用タクシー借上げ。										分野別計画	横須賀市教育振興基本計画																		
具体的な事業内容																														
(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源(人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります)																														
区 分					令和4年度決算	令和5年度決算	令和6年度決算	令和6年度予算	単位																					
a 事業費(予算現額・支出済額)					68	68	67	84	千円																					
b 人件費					518	528	541	506	千円																					
正規職員					0.0	0.0	0.0	0.0	人																					
再任用職員(短時間を含む)					0.1	0.1	0.1	0.1	人																					
会計年度任用職員(フルタイム、パートタイム)					0	0	0	0	千円																					
総経費(a + b)					586	596	608	590	千円																					
(3) 活動実績と年度ごとの推移(【総経費の内訳】)																														
総経費の内訳 <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業費</th><th>人件費</th><th>総経費</th></tr></thead><tbody><tr><td>令和4年度決算</td><td>68</td><td>518</td><td>586</td></tr><tr><td>令和5年度決算</td><td>68</td><td>528</td><td>596</td></tr><tr><td>令和6年度決算</td><td>67</td><td>541</td><td>608</td></tr></tbody></table>															年度	事業費	人件費	総経費	令和4年度決算	68	518	586	令和5年度決算	68	528	596	令和6年度決算	67	541	608
年度	事業費	人件費	総経費																											
令和4年度決算	68	518	586																											
令和5年度決算	68	528	596																											
令和6年度決算	67	541	608																											
令和4年度の活動実績					令和5年度の活動実績					令和6年度の活動実績																				
健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため事業を実施 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入 ・救急患者搬送タクシー代					健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため事業を実施 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入 ・救急患者搬送タクシー代					健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため事業を実施 ・新入生配布用の健康手帳の購入 ・医薬品の購入 ・救急患者搬送タクシー代																				
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	定時制保健室を適正に運営するための費用であり、学校の運営上必要不可欠な予算である。予算は固定経費的な要素が非常に強いため、大幅な予算増減が少ない事業である。																													
今後の事業の方向性	生徒の健康維持のため、安定的な運用ができるよう今後も努めていく。																													

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業		会計	一般会計	款	11	項	5	目	2	説明資料	86	項目番号	4(1)
事務事業名	全国、関東高等学校各種大会選手派遣費(定時制高等学校)(体育関係)									所管部課名	学校教育部		
											保健体育課		

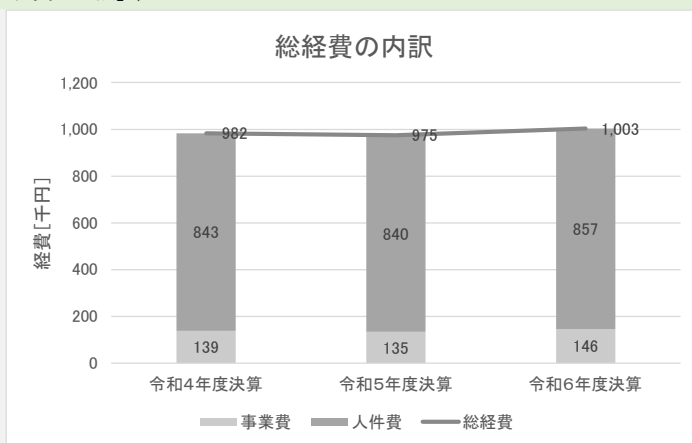
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法令の規定がない、もしくは規定による制約が小さく、本市の判断により実施している業務						
根拠法令							
事業目的	本市定時制高等学校生徒の体育・スポーツの奨励と心身の健全な育成を図る。 全国・関東大会に派遣することで優秀選手としての自覚を高め、人格を形成しレベルアップを図る。県代表として、全国大会に出場する市内の高等学校に対して、激励と一般市民へのPRを兼ねて懸垂幕(横断幕)を作成、掲示すると同時に学校の経費負担軽減を図る。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	・関東、全国大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給する。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国大会出場に際し、壮行会費用を支給する。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国体育大会出場に際し、学校・生徒の志気の高揚、市民へのPRのため、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示する。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	139	135	146	321	千円
b 人件費	843	840	857	848	千円
正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a + b）	982	975	1,003	1,169	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
・関東、全国大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国体育大会出場に際し、壮行会費用を支給、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示した。(対象:市立横須賀総合高等学校定時制)	・関東、全国大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国体育大会出場に際し、壮行会費用を支給、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示した。(対象:市立横須賀総合高等学校定時制)	・関東、全国大会へ本市代表として選手を派遣し、激励費を支給した。(対象:市立横須賀総合高等学校) ・全国体育大会出場に際し、壮行会費用を支給、懸垂幕(横断幕)を作成、掲示した。(対象:市立横須賀総合高等学校定時制)
年度ごとの推移の分析 (【総経費の内訳】の増減理由等)	激励費の支給額については、全国・関東大会の開催地や、出場生徒数によって増減する。	
今後の事業の方向性	定時制高等学校生徒の体育・スポーツの奨励と心身の健全な育成、全国・関東大会の出場資格を得た生徒の出場機会を保障するため、事業を継続する。	

令和7年度 事務事業等の総点検

その他事業	会計	一般会計	款	11	項	5	目	2	説明資料	86	項目番号	4(2)(3)
事務事業名	事務費等(定時制高等学校)								所管部課名	教育総務部		
										横須賀総合高等学校		

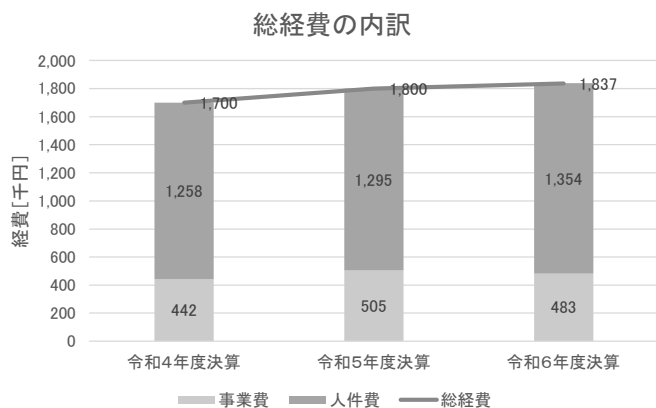
(1) 事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施が定められているものの、その実施内容や実施方法、実施体制については市に委ねられている業務						
根拠法令	学校教育法第2条～第5条						
事業目的	社会人講演会等各種講演会の開催。 「履修の手引き」等の印刷。					分野別計画	横須賀市教育振興基本計画
具体的な事業内容	市立横須賀総合高等学校(定時制)の教育活動上必要な経費(講演会経費等)を整備し、教育内容の充実を図る。						

(2) 1年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区 分	令和 4 年度決算	令和 5 年度決算	令和 6 年度決算	令和 6 年度予算	単位
a 事業費（予算現額・支出済額）	442	505	483	611	千円
b 人件費	1,258	1,295	1,354	1,260	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.2	0.2	0.2	0.2	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	221	239	273	249	千円
総経費（a + b）	1,700	1,800	1,837	1,871	千円

(3) 活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和 4 年度の活動実績	令和 5 年度の活動実績	令和 6 年度の活動実績
外部講師による講演会の実施と生徒配布用の印刷物を作成した。 ・保健講演会、社会人講演会の実施 ・新入生を対象とした履修の手引き等の作成	外部講師による講演会の実施と生徒配布用の印刷物を作成した。 ・保健講演会、社会人講演会の実施 ・新入生を対象とした履修の手引き等の作成	外部講師による講演会の実施と生徒配布用の印刷物を作成した。 ・保健講演会、社会人講演会の実施 ・新入生を対象とした履修の手引き等の作成
年度ごとの推移の分析 （【総経費の内訳】の増減理由等）	外部講師により実施した保健講演会（性教育講演会）は定時制生徒全体が受講する講演会である。養護教諭が毎年講師の選定や内容を新しくすることで、新入生以外の生徒でも関心を持てる内容となっている。生徒配布用の印刷物は新入生が科目選択の参考となる冊子であり、例年印刷する必要がある、固定経費的な要素が強い。	
今後の事業の方向性	生徒を取り巻く社会情勢を注視し生徒が望む講演会が行えるよう研究を進めていく。	